

過疎村温泉うらぎり慕情

シーズンー ヤカラと秘密の部屋

フロローク

老夫婦の会話

真知子 あなた、お茶をもう一杯いかがですか。

隆史 ああ、もらおうかな。

真知子 何処かお加減でも悪いんですか。

隆史 いや、なんでもない…真知子。

真知子 はい、何でしょう。

隆史 また野村先生の所に行ったのか。

真知子 ええ。

隆史 俺の事を何と言っていた。

真知子 ただ疲労が溜まっていただけだって。ゆっくり休めば回復して、また仕事に就けるんですって。

隆史 そうか。ただの疲労か。ところで、談論社から新たな執筆依頼の連絡はあったかい。今日あたり電話してくるはずなんだが。

真知子 ……いいえ、ありませんでしたわ。

隆史 そうか…真知子…

真知子 なんですか。

隆史 (窓の外をぼんやり眺めながら) 若い頃二人で行った過疎村を覚えてるか。

真知子 忘れるもんですか。二人共若かったわね。

隆史 また行かないか。

真知子 いいわね。旅行なんて何年振りかしら。

隆史 これが最後になるかもしれない。何もかも忘れてし

まう前に、君との思いでを記憶に留めておきたいんだ。

真知子

あなた…またそんな事言って、野村先生はなんとも無いつて診断してくださったじゃないですか。

隆史

いいんだ。自分の事は自分が一番よく分かっている。俺の頭はおかしく成りかけている。その内、自分がおかしいって事も認識できなくなるんだろう。

真知子

あなたったら…

真知子の電話が鳴る

真知子

電話だわ、ちょっと待っててね。

部屋の方でスマホで会話する。

真知子

野村先生わざわざお電話いただきありがとうございます

います。

野村　その後、ご主人の具合はどうですか。

真知子　今は安定しています。

野村　そうですか。アリセプトは服用してますか。

真知子　はい、先生が言われた通り一日一回服用しています。

あの、先生。主人は治るんでしょうか。

野村　正直申しまして、アルツハイマーが完治するケース

は極めて稀です。が、可能性はゼロではありません。

希望は持ち続けましょう。ご主人は病気の事を：

真知子　はい、気づきはじめました。もう隠し通せません。

野村　そうですか。

真知子　あの…先生、主人が、たまになんです、自分が若

かった頃の記憶がよみがえります。さっきも談論社

からの執筆依頼の連絡はまだかつて：

野村　それは認知症患者にはよくある事です。主にご本人

が最も輝いていた頃の記憶が呼び起こされます。男

性だと三十代から四十代の働き盛りの頃、女性だと十代から二十代が多いですね。

真知子

そうなんですか。

野村

確かご主人は作家だった頃があったんですね。

真知子

ええ、三十代から四十代のころです。一度だけ芥川賞の候補に選ばれた事もあったんですが、結局泣かず飛ばずで、五十になって、夜勤のガソリンスタンドの監視員の仕事で生計を立てるようになりました。そうだったんですね。認知症患者が若い頃の記憶の中に生きている時、充足感のある幸せそうな笑顔を見せる事があると聞きます。お世話される方は大変かと思いますが、どうかお疲れのではありませんように。ありがとうございます。

野村

真知子

野村

お大事に。

隆史の呼ぶ声が聞こえる

隆史 真知子君、聞いてるかい。

真知子 あ、はいはい、今行きます。

隆史 談論社の連載依頼の件だけど、僕は断ろうかと思うんだ。

真知子 ……そうですか。隆史さんがそう思うんでしたら……それでよろしいかと思えますよ。

隆史 一応真知子君の意見を聞いと思うてね。それと……

真知子 まだ何か？

隆史 お茶はまだかな。

真知子 あ、ごめんなさい。忘れていたわ。

暗転

一乃湯 バリキヤリ女子温絵(あつえ)

一五八二年過疎村

明智光秀 信長様にも困ったものだ。いきなり中国地方で苦戦している羽柴秀吉のフォローにつけとは、あっちへ行け、こっちへ行け、俺達は将棋の駒じゃねえってんだ。

側近 明智光秀様。声が大きいでござる。村人がこっちを見てるでござるよ。

光秀 そういうお前の声も大きいぞ。注意しながらこの者こそ今をときめく明智光秀だと村人に聞こえよがしに吹聴しているようなものだ。

側近 いえ、私は決してそのような：

村娘 a あの…ひよっとして…明智…

側近 (笑顔) あ、どうも、明智光秀です。実はお忍びなんですよ。

村娘 b やっぱりそうだ。(a に対して)ね、言った通りでしょ。

村娘 a 応援してます。

村娘 b 頑張って下さい。

光秀 ああ、どうも(顔を手で覆いながら)先を急ぎますんで

村娘二人が退場

側近 危ないところでしたね。

光秀 何が危ないところでしたねだ。お主から拙者の名前をバラしてしまってるじゃないか。

側近 いや、その結構僕のタイプだったんで、向こうも二人組だし、ワンちゃんあるかもと思って。

光秀 何がワンちゃんあるかもだ。ポルトガルの宣教師達を使うような言葉を使いやがって。

側近 おや光秀様、この先で煙が立ち上っておりますよ。

光秀 本当だ。種子島銃の試し撃ちでもしているのかな。

二人が煙の方へ近づく。

側近 こ、これは温泉だ。温泉が湧いてござる。

光秀 煙の正体は、温泉から沸き立つ湯気であつたか。誰も手を加えておらん。正に天然の温泉だ。

側近 光秀様、先を急ぎましよう。秀吉殿の後詰めに間に合いませんぞ。

光秀 まあ、待て。あんな猿は待たせておけば良い。それより温泉だ。拙者、温泉には目がないのだよ。三度の飯より温泉が好きでの。

側近 存じております。ですから先を急ごうと即しているのです。

光秀 少し、湯に浸かっていこう。

側近 そうくるとは思っていました。本当に少しだけですよ。

光秀 分かつておる(湯船に浸かる)あーくらく、くらく。

しばらく湯の中でウトウトとする。側近はそらの様子を眺めてソワソワする。

側近 光秀様。光秀様。そろそろ行きませんと、秀吉殿が

お待ちですぞ。あの狡猾な秀吉殿の事、後で信長様に何をか言われるや知れた物ではありませんよ。

光秀 ほっとけほっとけ。あんな田舎者の猿ごときどうなるうと知ったことか。それより拙者はこの湯に浸かりつつ名案を思いついたぞ。

側近 名案ですと。それはいったいどんな事でございましょう。

光秀 聞いて驚くなよ。信長を討つ。
側近 な、なんですって。本気ですか。

光秀

側近

光秀

側近

光秀

側近

光秀

側近

光秀

側近

本気だ。本気と書いてマジと読む、の本気だ。

いや、あり得ないっしょ。そんな事したら。今後光

秀様の名声は、永遠と書いてトワに地に落ちますよ。

俺の名声などかまうもんか。俺が日本の歴史上最も

醜悪な逆賊の汚名を着せられたとして、それがどう

した。それで戦国の世に終止符を打ち、天下万民に

平安をもたらすなら、俺は喜んで逆賊になってやる。

光秀様。

今から名言を言うぞ。

名言ですか。

そうだ。心して聞け。：敵は本能寺にあり。どうだ。

はいキタ、けだし名言。光秀様。早速本能寺に急ぎ

ましょう。

いや、待て。もう少し湯に浸からせてくれ。

光秀様：

ナレーション 以降、明智光秀の浸かった、過疎村に湧くこの湯をうらぎりの湯と呼び、現在まで多くの村人が親しまれる事となった。

暗転

2026年 東京

談論社 月刊温泉ジャーナル編集部

編集長温絵 ねえ、これ本当なの、大田君。

大田 過疎村に古くからある伝説です。

温絵 眉睡ね。明智光秀が過疎村に湧く温泉に浸かりながら本能寺の変を思いついたって、こんな何の根拠も

ない記事を書いたら、日本中の歴史オタクから非難が殺到するわよ。いったい誰に聞いたの。

大田

過疎村温泉にある老舗旅館、うらぎり荘の女将から直接取材しました。女将が言うには、うらぎり荘には、まだ明智光秀が浸かった湯船が当時のまま保存されているとの事です。最も嚴重に鍵がしてあるのでそこは、うらぎり荘のほんの一部の人しか入れないんですが。

温絵

益々怪しいわ。

大田

でも、過疎村にだけ伝わる全くのデタラメかという
と、そうとも言い切れないんです。明智光秀を実際
に見たという村人の証言を集めた資料が、過疎村役
場に残っていて、それらの意見が、ことごとく明智
光秀の顔の印象を良く捉えていて、過疎村温泉に明
智光秀が立ち寄ったとしか思えないんです。

温絵

ちよっと待ってね。確か過去にも過疎村温泉の特集
記事があったと思うんだけど、バックナンバーを検
索してみるわね。

パソコンを操作する

温絵 なるほど、そういうことね。よくわかったわ。

大田 何が分かったんですか。

温絵 これを見て(パソコンの画面を見せる)

1970年6月号 邪馬台国は過疎村にあった。古代史永遠の謎に、今終止符が打たれる！今年の夏は過疎村温泉で過ごそう。

1974年6月号 ツチノコ発見か！過疎村で多くの目撃情報あり、ツチノコを生け捕りにして一獲千金を目指そう！今年の夏は家族揃って過疎村温泉へ。

1989年6月号 君は人面犬を見たか！過疎村に夜な夜な

出沒する人面犬の謎に迫る。信じるか信じないかはあなた次第。今年の夏は過疎村温泉で最高の思いでを。

1992年6月号 過疎村の地下に眠る徳川埋蔵金。徳川家子孫のX氏所蔵の古文書によりその存在が明らかに。あの赤城山は図でしかなかった。今年の夏も過疎村温泉へお越しんしゃい。

大田 これはどういう事ですか。

温絵 村おこしよ。当時世間で話題になった事柄を利用して、雑誌で取り上げてもらい、観光客を取り込もうって作戦ね。そのうらぎり荘の女将って、過疎村温泉

の広報もかねてるのよね。

大田 ええ、そう言っていました。去年までは父親だった先

代が広報をやってましたが、心臓の病で亡くなって

温絵

以来、娘さんが女将として後を継いでます。

なかなかの策士ね。私達の雑誌はその親子に上手く利用されたのよ。全部夏休み前の6月号に掲載させてる事や、毎回タイトルの最後にちゃっかり今年の夏は過疎村温泉へ行こうって、とってつけたような文章があるのをみても、その親子の目的は明らかだわ。

大田

それで今年の六月号は明智光秀を持ち出してきたんですね。でもどうして明智光秀なんでしょうか。

温絵

何年か前に大河ドラマで取り上げられたからじゃないの。それに、これまで謀反人とか天下一の裏切り者とかいって忌み嫌われてきた明智光秀が、統治能力に優れていて、領民からも慕われていたとかいって再評価されてきているのも要因の一つだわ。光秀にゆかりのある京都府亀岡市や福知山市では、実際に光秀を観光資源として取り入れているもの。

しばらく過疎村についてパソコンで調べる。

温絵 （パソコンの画面を見つめて）ちよっと待って、過疎

村温泉について複数の面白い書き込みがあるわ。

大田 なんて書いてあるんですか。

温絵 一つは、一九九八年の冬季オリンピックの開催地に

立候補して落選してるわ。長野に負けたのよ。今でも当時建設されたスキージャンプ台が負の遺産として村に残ってるそうよ。それと、もう一つは…

パソコンの画面を切り替える

温絵 温泉が枯れたって書き込みしてる人が何人かいてるのよ。

大田 温泉が枯れるって、その…温泉が出なくなったって

温
絵

事ですすよね。そんな事ってあるんですか。

あるわよ、ごくまれにだけ。ネットの書き込みによると、税金を注ぎ込んで建設した過疎村バイパスの工事中に地下水脈を断絶してしまつて温泉が出なくなつたつたつたというのよ。

本当ですか。

大
田
温
絵

それだけじゃないわ。この春にグランドオープンしたリゾートチェーンのホテル平安物語パレス過疎村つてのがあるんだけど、その展望大露天風呂が大量に源泉を使つてうちに、源泉が枯れてしまつたとも書かれてるわ。勿論ただの書き込みだから何の証拠もないわ。でもこれが事実だとしたら、2004年に起きた白骨温泉入浴剤混入事件以来の温泉大スクープよ。

大
田
温
絵

白骨温泉入浴剤混入事件ってなんですか。

説明するのが面倒くさいから、気になるんだったら

自分でスマホ使って検索して。

大田

なんか僕に言ってるんじゃないかって他の誰かに言ってるように聞こえるんですが。例えば僕達の物語をスマホ使って読んでもる人達に。

温絵

うるさいわね。ほら、ぼっとしてないで行くわよ。

大田

行くなって何処に。

温絵

決まってるでしょう。過疎村よ。実態を調査しに行くのよ。でもその前に、大田君、あなた東京阪（ひがしけいはん）大学の考古学部出身よね。

大田

はい。大田（だいち）教授の元で准教授をしてました。過疎村に行く前にちよっと大学に寄って、大地教授に、過疎村について聞いてみて。

温絵

大田

大地教授は大変忙しい身なので、突然行っても会ってもらえるかどうかわかりませんよ。第二考古学部の天口（あまくち）教授ならいつも暇なので直ぐ会えると思います。

温絵

天口じゃ駄目よ。やっぱりゴッドアイズ大地でない
と。テレビによく出てるし、うちの雑誌にもインタ
ビュー記者を何本も書いていただいてるし。

大田

わかりました。

温絵

じゃあ、頼んだわよ。私は先に行って待つてるから。
明日の朝一番に過疎村で会いましょう。

大田

あの…編集長。過疎村って何処にあるんですか？

温絵

知らないわ。

暗転

東京阪大学 学内カフェテラス、空いてる席に座りホッ
トコーヒーを飲みながら休憩する大田

大田

編集長の言う通り、東京阪大学にやって来たのは良
いけれど、大地教授は何処にもいないな。

ヨレヨレのスーツ姿のみすばらしい中年男性が、トレーにホットコーヒーを載せて近寄って来て大田の隣に座る

男性 大田じゃないか。何しに来た。

大田 あ、天口教授。お久しぶりです。実は大地教授に会いたくてやって来たんです。

天口 大地？テレビの取材でも受けてるんだろう。

大田 テレビの取材ですか。相変わらず忙しそうですね。

天口 なんだ、お前。それは取材を受けたことのない俺への当て付けか。

大田 いえ、そういう意味で言ったんじゃないありません。

天口 アイツはただの目立ちたがりやだ。

大田 最近ミーチューブのチャンネルを開設したらしいですよ。

天口 益々気に入らん。考古学をなんとらえてるんだ。

大田、お前にしてもそうだ。大地の准教授やってた頃はあんなに研究熱心だったのに、急に辞めてマスコミに入りやがって。あの時の情熱はどうした。インディージョーンズになりたかったんじゃないのか。

大田

天口教授、人にはそれぞれ事情があります。

天口

はっ、事情ね。皆そう言うんだ。だったらいったい誰が先人達の偉大な文明を後世に伝えるんだね。誰にでも出来ることではない。ましてや大地なんぞもつての他だ。お前にはその素質があっただけに残念だよ。

バーバリーのスリーピースを瀟洒に着こなしたロマンスグレーの紳士がこちらに向って歩いて来る。

天口

噂をすればなんとやら、イケオジ気取りのキザ野郎

のお出ました。俺はこれで失礼するよ。

天口退場

大地　大田君、久方ぶりだね。ラインをくれていたんだね。

僕は雑誌のインタビュウ中で対応できなくてすまなかった(胸ポケットから颯爽と最新式アイフォンプロマックスを取り出して一瞬何かを打ち込んでまたポケットにしまう。この間わずか0.7秒)

大田が自分のスマホを調べてみると、大地教授から返信がきている「ごめんね」

大田　お忙しい中すみません。

大地　いや、いいよいいよ。僕も少しここで休んでいこう。

さつき天口教授が座っていた椅子に腰掛ける。

大地

うわ、汗でベタベタだ（高そうなハンカチで椅子を拭く）今は談論社で働いてるんだってね。やるじゃないか。頑張りたまえ（大田の肩を叩く）ところで僕に聞きたい事はなんだね。

大田

実は、過疎村についてです。

大地

過疎村？

大田

ええ、僕の担当している月刊温泉ジャーナルで何年かに一回過疎村についての特集記事を出してるんですが、いつもにわかには信じ難い眉唾な事ばかりで過疎村の広報から聞かされるので、大地教授の意見を聞かせてほしいと思ひまして（タブレットを大地教授に見せる）

大地

（タブレットを眺めながら）なるほど、これが今までのバックナンバーだね。邪馬台国にツチノコ、人面

大田 犬、徳川埋蔵金か、コイツは面白い。そのうち明智光秀の謀反の謎に迫るってのもでてきそうだな。実は、今年は明智光秀についてなんです。なんでも過疎村温泉に浸かりながら本能寺の変を思いついた、とか。

大地 あははは…そんな訳無いだろう。

大田 やはりデタラメなんでしょうか。

大地 そうだな。観光客集めのための話題作りだろう。もつとも私は考古学専門なのでツチノコや人面犬などと言われても分からないとしか言えないがね。ただ一つ気になる事がある。

大田 なんでしょうか。

大地 1970年6月号、邪馬台国は過疎村にあったってやつだよ。

大田 この号がどうしたんですか。

大地 完全なデタラメとは思わない。

大田

でも大地教授。邪馬台国論争は畿内説か九州北部説のどちらかでしよう。過疎村説なんて聞いた事ありませんよ。

大地

大田君の言う通り、畿内、九州北部の両派が有力ではあるが、その他にも邪馬台国があったのではないかと主張する土地は、日本全国いたるところにある。新潟、武蔵、尾張、近江、備前、阿波、エジプトという説もあるくらいだ。

大田

エジプトですか。

大地

そうだ。だから、過疎村にあったとしてもなんら不思議はないのだ。私は長年考古学の研究をしているが、邪馬台国は数年毎に引っ越しをしてたんじゃないかという説を唱えてるんだ。勿論何のエビデンスつまり証拠もないがね、しかし、邪馬台国が常に移動し続けていたと考えれば、日本中いたる所に邪馬台国があったという各地の証言に整合性がでるんだ。

大田

でも、どうやって移動していたんですか。

大地

さあね。だが、邪馬台国と過疎村に何らかの関係があると言う説は、若い頃に学会に論文として提出した事があったな。：おっと、もうこんな時間だ。

これから遺跡の発掘調査に行かなきゃならないんだ。大手スポンサーから多額の資金援助をもらっている上、サンサンテレビがゴールデンで特番組をもって言ってるんで荷が重いよ。

大田

何か発掘できそうですか。

大地

何としても何かを掘り起こさないと、皆期待しているからね。

大田

応援しています。

大地

ありがとう。できれば、また君が私の片腕として力になってもらえると助かるんだが。

大田

教授：それはできません。

大地

そう言うと思ったよ。私と第二学部の天口教授の板

挟みになって、随分と不愉快な思いをさせてしまったからね。

大田 教授、それだけじゃありません。

大地 ま、いいさ。良かったら私のミッチューブも観てくれ「大地健教授の発掘あるある大地健」と言うんだ。今日はコーラにメントスを混ぜるとどうなるか検証しようと思うんだ。

大田 そんな事してるんですか。僕はてっきり考古学について検証するためにチャンネルを開設したのかと思っていました。

大地 始めのうちは、考古学や発掘についてのあるあるネタを真面目にやっていたんだ。だが教育系ミッチューバってのがいっぱい出てきて、再生数がなかなか伸びなくなってるね。

大田 それでメントスコーラですか。

大地 何とか登録者数を千人突破させたいところだよ。良

かったら君も高評価とチャンネル登録よろしく頼むよ。

大田 わかりました。

大地 最後に一つ忠告しておく。

大田 なんでしょう。

大地 さっき天口教授と会っていたようにけど、やはりあの男とは、あまり関わらない方がいい。理想ばかり追っていて現実から逃避している。それでいて私の陰口を叩くんだから始末に負えない。積年の夢のマジブトツタンカーメン王の墓の発掘のため、色々と奔走しているそうだが、上手くいつてないらしい。

大田 そうだったんですか。

大地 まあ、君は大学を去った人間だ。こんな事を言うのは筋違いだったね。許してくれたまえ。それじゃ失礼するよ。

大田 有り難うございました。

大地（席を立つ時に、ボストンバックから何かが床に落ちる）

大田 教授、何か落としましたよ。

大地 あ、失礼（慌てて落とした物をバックにしまう…が、焦ってしまい、なかなかうまくバックにはまらない）陶器ですか。

大田 ああ、まあそんなところだ。講義に使う資料だよ。

大地 失礼、急いでるんでね。

あたふたと席を立つ。

大地退場

大田 いつも落ち着いている大地教授の割には、なんだか酷く慌てていたな。あの陶器、人に見られちゃいけない物だったのかな。

コーヒーを飲みながら周りを見渡す

大田　懐かしいな。全然変わってない。景色も人も、大地教授も、天口教授も。

男が近づいて来る。

東（あずま）　大田、ひさしぶりだな。大学に戻るのか。

大田　やあ、東か。何年ぶりだろう。大学に戻るわけではないよ。ちょっと大地教授に聞きたい事があるね。それで大学に来たんだ。

東　なんだそういう事か。俺はてっきりお前が、また大学に戻って考古学の研究を続ける気になったのかと思っただよ。

大田　おあいにく様。俺は研究だけに専念できるなら、お

東

前みたいに大学に残って学問を追求したいが、大地教授と天口教授の権力争いに気を配りながら、そわそわした気分で研究するのは御免だね。

大田

お前らしいな。
この大学の構造がいびつなんだよ。そもそもなんで第一考古学部と第二考古学部の2つに別れてるんだよ。

東

確かに。天口第二考古学部教授の方が先輩にも関わらず、今の東京阪大学考古学部は、大地第一考古学部教授でもっていると言われているからな。

大田

俺がいた時と変わらないな。天口教授は、相変わらず評判が悪いのか。

東

悪いなんてものじゃないよ。よほどエジプトに行ってツタンカーメンの墓を掘り起こしたいのか、この辺り一帯の社長や地主に資金提供を呼びかけるのは、いいんだけど、研究費を接待に注ぎ込んだり、女子

学部生をホステス代わりに使ったり、講義中は、接待麻雀の練習をさせられたりで、学生は皆辟易してるよ。

大田

お前も何かやらされてるのか。お前は天口教授から可愛がられているからな。確か今年准教授になったんだよな。おめでとう。

東

おめでたくなんかないよ。俺は接待ゴルフばかりやらされてる。勿論毎回握りだ。

大田

握りってなんだ。

東

賭けゴルフの隠語だよ。

大田

そりゃ大変だな。

東

その内天口教授が何かとんでもない事をやらかして世間を騒がしてしまうんじゃないかと、心配しているんだ。接待相手の中には、反社まがいの者もたまにいるからな。

大田

東、お前も大学辞めて民間で働いた方がいいんじゃない

ないか。

東　　そうだな、でも俺はなんだかんだ言ってもいつか天口教授についてエジプトに発掘に行く夢を諦めきれないんだよ。多少やり口はアコギだが。

大田　　そうか、夢が叶うといいな。ところで、話が変わるんだが、さっき大地教授が立ち去り際に鞆から陶器を落としたんだが、何か分かるか？

東　　さあね。大地教授はこれから遺跡発掘調査に出かけるとか言ってたな。なんでも大手企業がスポンサーになってくれてるらしい。テレビで特番もやるそうだ。天口教授とは雲泥の差だな。それと関係があるのかもしれないが、そうあまり深く考えるな。世の中には知らない方がいい事もある。

大田　　そうだな。俺も、何も見なかった事にするよ。今から講義を行うんでな。もう行くぜ。

大田　　ああ、また会おう。

東
退散。

大田　俺も行くか。過疎村ってところに。確か邪馬台国は過疎村にあったかもしれないって言ってたな。エジプトの説もあるとも…でも、さすがにエジプトはないなあ…

暗転

二之湯　胸糞ティカー冷子

ホテル平安物語パレス過疎村に続く長い道のりを二人の女性が話しながら歩く

冷子　いよいよ今日の最終面談で、私が支配人になれるか

どうか決まるんだわ。ソクソクするわ。

美和 冷子部長でも緊張する事ってあるんですか。

冷子 緊張？緊張なんてしないわよ。ソクソクするって言ったの。

美和 ソクソクは緊張じゃないんですか。

冷子 ちよっと違うわね。緊張というよりは興奮に近いかな。

美和 そうなんですね。会長との最終面談の前に緊張せずに興奮するなんて、流石男勝りの冷子部長ですね。

冷子 褒めてくれてるのよね、有り難う。この一年間新装オープンする「ホテル平安物語パレス過疎村」の支配人になる事ばかり考えて来たわ。後一步よ。これが興奮せずにいられるものですか。

美和 ところで会長ってどんな人なんですか。

冷子 自伝を出すような人よ。

美和 読んだんですか。

冷子

まさか、読むわけないじゃん。ただ、自伝を出すよ
うな人で、しかもプロのゴーストライターに書かせ
る人、というだけで、会長の人となりは分かるわ。
今日の最終面談って、冷子部長以外にももう一人受
ける人がいるんですよね。

美和

冷子

小谷部長よ。

美和

どんな人なんですか。

冷子

優しいだけが取り柄の、つまらない男よ。あんな草
食系男子に、この私が負けるはずがないわ。

美和

ホテルの入口が見えてきたわ。すごく立派なホテル。
まるで宮殿みたい。

冷子

当たり前よ。これからこの宮殿の主が私になるん
ですからね。

美和

入口に誰かいるわ。…やだ浮浪者だわ。

浮浪者

おーお優しいお嬢さん方、どうか恵まれぬこのヤツ
ガレにお恵みを。

美和 可哀想だわ(ハンドバッグから財布を取り出そうとす

る)

冷子 甘ったれんじゃないわよ。こ〇き(浮浪者を突き飛ば

す)

浮浪者 おゝ無体な。

冷子 行くわよ、美和さん。

美和 あ、はい。でも…

冷子 ほっときやいいのよ。

二人、ホテルの中に入って行く。その後から小谷が現れる

浮浪者 おーその若えの。どうか恵まれぬこのヤツガレに

お恵みを。

小谷 (ハラハラと涙を流す)なんて気の毒なんだ。これも
きつと政治と社会のせいだ。無力な僕にできる事は

何もないが、せめてこれだけでも受け取って下さい。

(財布から千円札を二枚手渡す)

浮浪者 (ちよっと不服そうな顔をして、タブレットを差し出す)

出す)

小谷 これは？

浮浪者 このピカピカ光ってる所にお手持ちのクレジットカー

ドをかざして下さい。

小谷 これでいいのかな？

電子音が鳴る

浮浪者 おありがとうございます。

浮浪者立ち去る

小谷 いったい何だったんだろう。

スマホの着信音がする。画面を見て愕然とする。

小谷

僕のクレジットカードから5万円が使われている。なんてことだ。さっきの浮浪者はひよつとして詐欺だったんだろうか。いや、そんなはずはない。きっとホームレス社会でもキャッシュレスが進んでいるんだろう。僕のお金で、あの人がちよつとでも幸せになれたら、僕は本望だ。でも今月の支払いどうしよう(腕時計を見る)おつとゆっくりしてる場合じゃなかった。これから会長と面談があるんだ。…よし、頑張るぞ。僕は優しさや感謝の気持ちでは誰にも負けない。僕こそホテル平安物語パレス過疎村の支配人にぴったりだ。

ホテルの中に入って行く

支配人室

中央に島崎専務、支配人候補の冷子部長と小谷部長が直立不動の姿勢で待つ。

島崎専務　これより、ホテル平安物語パレス過疎村の支配人を選定する。ご承知のように、当ホテルはこの春グランドオープンを果たした。今までは私が仮支配人としてやってきたが、今日より冷子部長か小谷部長のどちらかに支配人となってもらおう。そこで、二人の家柄、宗教、交友関係、犯罪歴、趣味、性癖、異性関係、借金の有無、ドラッグ使用歴等の各調査、並びにプロの盗撮師を雇って部屋の中のあるゆる角度からのリサーチをさせてもらったが、いよいよ今日、会長との面談のすえ決定を下す。心の準備はよ

いかな。

二人
はい。

島崎
では、会長に入室いただこう。会長よろしく願い
いたします。

会長が入室する。

小谷
(驚く)あ、さっき入口にいたホームレスだ。

冷子
(冷静に)やっぱりね。

会長
どうだい。二人共驚いたろう。その顔は開いた口が
ふさがらないようだね。

島崎
会長は、敢えて浮浪者に身をやつし、二人の人とな
りを見極めようと試みたのだ。

会長
その人の本性は、自分とは関係ない他人との接し方
に表れるというからね。おかげでよく観察させても
らったよ、ワシは決めたよお二人さん。面談なども

う必要ない。どちらにこのホテルを任せるかをね。

二人を睥睨する。

会長 小谷君、君は僕にお金を恵んでくれたね。しかもク

レジットカードまで使ってくれて。ありがとう。

小谷 僕は困ってる人を見ると放っておけないんです。これまでもお客様へは積極的にお声がけてまいりました。

会長 正にホテルマンの鑑だね。そうは思わぬか島崎専務。は、誠にホテルマンの鑑であります。

会長 それに反して冷子部長。

冷子 ……はい。

会長 何だが不遜な態度が滲み出てるな。

冷子 そんな事ありません。

島崎 文句があるならはっきり言え。

冷子 文句なんてないわよ（島崎を睨みつける）

島崎 （びびって）あ、いや、すみません。

会長 君はワシを突き飛ばしたね。

冷子 …

島崎 どうなんだい。会長が聞いているのだ。突き飛ばし

たのか。突き飛ばしてないのか。

冷子 てめえ殺すぞ。

島崎 あ…いや、僕は何も…気を悪くしちゃったかな。あ

は、あはは、あは。

会長 まあよい。二人の内どちらを支配人に据えるか、これから発表する。片方にはこのホテルの支配人となつてもらう。もう片方には、グループ企業の「神の子ハウス」のマネージャーとなつてもらう。神の子ハウスは知的障害のある子供達を、一時的に預かるケアハウスだ。それでは発表する。

沈黙の時間が流れる

会長 ホテル平安物語パレス過疎村の支配人には、冷子君。

君になってもらおう。

冷子 ありがとうございます。

小谷 なぜだ。なぜ僕じゃないんだ。

会長 甘いのだよ、君は。

島崎が入口のドアをさつと開けて小谷に出て行くように促す(まるでホテルのドアボーイのような華麗な身のこなし)

島崎 さ、出ていきたまえ。ここは君のいるべき場所では

ない。

小谷 そんな…あんまりだ。

小谷退室

会長

冷子新支配人、今後は島崎専務になり変わってこのホテルの支配人になってもらおう。島崎専務には再び本社に戻ってもらい、コンプライアンス委員長と社内不祥事揉み消し委員長を兼任してもらいたい。

島崎

はい、揉み消しの島ちゃんの名にかけて、どんな不祥事でも揉み消してみせます。

会長

頼もしい奴だ。

暗転

半年後

ホテル平安物語パレス過疎村

冷子 支配人と美和が廊下を歩いている。

美和 まるで迷路のように入り組んだ建物、いつも迷って

しまうわ。

冷子 ホテル自体が丘の斜面に建ってるから余計に複雑なのよね。

美和 支配人は何処をどう歩けばいいか覚えてるんですか。ある程度は把握してるわよ。でも、迷わずに何処に

でも行けるようになるまでは、一ヶ月かかったわね。

美和 東京阪大学を首席で卒業した冷子支配人で一ヶ月かかったんなら、私なんて一年かかるわ。

冷子 大袈裟よ。そんなに覚えるのが苦手ならメモでも取れば。

美和 もうとってます。でも、何を書いてあるのか分からないんです。

冷子 自分で書いたメモよね。

美和 ええ。

冷子 見せてごらん。

メモを受け取る

冷子 しはいにんしつへの行きかた。まっすぐすすむ。ほ

はばやく60センチメートル(63センチでもよい)エレベーターにのる。上に行けるやつにのる。まちがって下に行くやつにのってしまったら、もう一回4階でおいてやりなおす。7階でおける南に48歩、歩くそくどは時速一キロ、ほはばは60センチ、15秒歩いたら東に83歩ほはばは63センチメートル……なんなのこれ。

美和 私の書いたメモです。

冷子 (メモを返す)それは分かってるわ。このメモ、ワザと分かりにくく書いたとは思えないわ。肝心な事

が何も書いてなくて、歩幅とか、エレベーターの説明とかどうでもいい情報ばかりじゃないの。まるで邪馬台国の位置を記した魏志倭人伝みたいだわ。

美和

魏志倭人伝ってなんですか。

冷子

なんでもいいのよ。いい、メモっていうのは、後で見返した時にちゃんと分かるように書かなきゃ駄目よ。目印になる物を書くとか、道順をイラストにするとか。

美和

わかりました（メモにペンを走らせる）

冷子

早速メモに書いてるようね。その調子よ（メモを覗き見る）だから魏志倭人伝とか、そういうのは書かなくていいのよ。

物語冒頭に出てきた老夫婦が登場

真知子

あの…すみません。展望大浴場に行きたいんですが。

冷子 すみません、今忙しいので：

真知子 誰に聞けばいいんですか？

冷子 (面倒くさそうに) 展望大浴場へは東館から16号エ

レベーターにのって12階で下りて中央廊下を進んで西階段で8階でありて宴会場を抜けて：

真知子 ちよっと待って、そんなに早口で言われても覚えられないわ。

冷子 いいですか、もう一度言いますよ(さっきより早口で)

東館から16号エレベーターにのる、12階であり。理解できる。12階よ。それから中央廊下、ちよつとお客さん聞いているの、人が親切に説明してんだからね…

真知子 すみません(メモに鉛筆を走らせるが、焦って全然書き取れていない)

美和が何処かから館内パンフレットを持って来る。

美和 あ、良かったらこれ使って下さい。中に展望大浴

場への行き方がのってますから。

真知子 あら、助かるわ。あなたお若いのに気が利くわね。

美和 どういたしまして。私も良く迷うんですよ。

真知子 どうもありがとう(後ろで不安気に立っている隆史に

向って)あなた行きましょう。

老夫婦退場

冷子 歳は取りたくないわね。

美和 心配だわ。無事に展望大浴場に辿り着けるかしら。

冷子 知ったことじゃないわ。

美和 支配人はここの展望大浴場に入った事ってあります。

冷子 ないわ。

美和 すごく気持ちがいいのよ。私温泉大好きだからいつ

冷子

も営業時間外の夜中12時に、鴻池副支配人をお願いして入浴させてもらってるんです。夜空に煌めく星屑の中で、ゆっくり足を伸ばして湯船に浸かっていると、まるでシンデレラになったみたいにおとぎ話のヒロインになれるんです。

私潔癖症だから、人が入った後の湯船なんて浸かる気にならないわ。あなた、夜中の12時とシンデレラをさりげなく会話に差し挟んで、詩人っぽさをアピールしたつもりかもしれないけど、ちょっと無理があったわね。

暗転

支配人室

鴻池副支配人が待っている支配人室に、冷子支配人と美

和が入室してくる。

鴻池 お待ちしてました、支配人。

冷子 鴻池君、ご苦労さま。早速仕事に取りかかってくれていたのね。

美和 お疲れ様です。鴻池副支配人。

鴻池 やあ、お疲れさん。美和くん。ここの仕事には慣れたかい。

美和 それがまだまだ分からない事だらけで。

鴻池 無理することはないよ。ゆっくりでいいからね。

美和 ありがとうございます。

冷子 美和さん。ここはもういいわ。スタッフルームに戻って自分の仕事をしなさい。

美和 わかりました。

支配人室から出て行く

冷子

ちよっと、そっちじゃないわよ。エレベーターは右よ。…あの子大丈夫かしら。

鴻池

あははは…心配しなくても案外しつかりしてますよ。あら、あの子の事知ってるの。そういえば、さつき副支配人にお願ひして、夜中に展望大浴場に入らせてもらってるとか言ってたような気はするけど。

鴻池

「ホテル平安物語シャトー大阪西成あいりん」時代の僕の部下なんです。

冷子

そうだったんだ。じゃあ私達が出会う前ね。

鴻池

僕が支配人の直属の部下になったのは「ホテル平安物語シャロン尼崎センタープール前駅前」の時でしたから、そうですね。

冷子

あの頃は大変だったわね。今思えば良く乗り越えられたわ。鴻池君の支えがなければ無理だったと思う。ご謙遜を、支配人の力ですよ。

鴻池

冷子

私一人じゃ無理よ。ここの支配人に就任した時、真っ先に鴻池君に来てもらう事を島崎専務に頼んだんだから。これからも私の右腕として働いてもらうから覚悟してね。

鴻池

お役に立てるよう努力します。

冷子

早速だけど今日は何か報告はある。

鴻池

2件あります。まず1件目は、小谷元部長が、神の子ハウスのマネージャーに正式に就任しました。

冷子

私に負けた男ね。この世の地獄だと聞いているわ。

鴻池

最近まで僕は神の子ハウスでアシスタントをしていました。

冷子

そうだったんだ。じゃあ、私がここに呼ばなかったら、ずっと神の子ハウスで働いていたってこと。

鴻池

ええ、

冷子

私に感謝することね。

鴻池

ありがとうございます…一つうかがってもいいです

か。

何かしら。

ホームレスに扮した会長を突き飛ばしたのにもかかわらず、なぜ冷子さんが支配人になれたのかと思つて。

冷子
鴻池

冷子

鋭い質問ね。よろしい、レクチャーしてあげるわ。まず、ホテルの入口にホームレスがいた時点で、これは会長だと見破ったわ。なんで分かったんですか。

鴻池
冷子

自伝をゴーストライターに書かせるほどの自己顕示欲の強い人だから、ホームレスに化けて社員の人格を見抜くなんて古いドラマによくありがちな、くだらない事やったりするのよ。それに、普通ホテルの前に浮浪者がいたら何処かに追い出すでしょう。ましてや私が支配人になるまでは、ここの最高責任者はあの島崎専務よ、差別主義者の島崎がほっとくは

鴻池

ずないわ。バケツで水でもぶっかけるくらいの事はやりかねない人よ。

浮浪者を会長と分かつていながら、なぜお金も恵まず、突き飛ばしたりしたんですか。

冷子

逆張りに賭けたのよ。私がお金を恵んでも、どうせ偽善だって言われるし、親切心では後から歩いて来る小谷に絶対敵わないのがわかってるから、敢えて残酷な仕打ちをして、私は攻めの姿勢でこのホテルを経営してみせるってところをアピールしたのよ。見事な洞察力としか言いようがありません。神の子ハウスでも冷子部長と小谷部長の熾烈な支配人争奪戦がライブ配信されてましたが、皆手に汗握って食い入るように見てましたよ。

鴻池

冷子
鴻池

ハウスの子供達に理解できるの。いいえ。

清子

じゃあ、意味ないじゃん。

冷子　　そうでもないですよ。みんな人の気持ちには敏感な

子供ばかりですから。

冷子　　で、その子達は、陰謀渦巻く大人達の駆け引きをど

う思ってたのかしら。

鴻池　　みんな言ってましたよ。冷子お姉ちゃん頑張れって。

冷子　　そう、今度神の子ハウスに行ったらありがとうって

伝えといて。

鴻池　　ご自身で行ってみれば、みんな喜びますよ。

冷子　　私は…遠慮しとくわ。

鴻池　　そうですか。

冷子　　もう一方の伝言って何。

鴻池　　今日、15時から会議室で役員会議があります。

冷子　　私がここの支配人になって初めての役員会議ね。

誰が参加するの。

鴻池　　まず、本社からコンプライアンス委員長であり、社

内不祥事揉み消し局長でもある、島崎専務です。

冷子

あの豚ね。

鴻池

はい、あの豚です。それから「ホテル平安物語シャトー大阪西成あいりん」の総支配人山根信司常務。

冷子

インチキクソ野郎ね。あの男大っきらい。

鴻池

皆さんそうおっしゃいますね。特に女子社員からの評判が最悪です。3Kと呼ばれています。

冷子

3K、高学歴、高収入、高身長のこと、ハイスペック男子を指す言葉じゃん。

鴻池

いえ、山根の場合は、臭い、キモい、汚いの3Kです。

冷子

よく生きていられるわね。

鴻池

インチキクソ野郎ですから、僕だったら耐えられないな。もう一人は、最近役員になったばかりの三・A

TM常務です。

冷子

聞いた事ないわね。

鴻池

そうとうのやり手らしいです。以上3名の役員が参

冷子

加します。いずれもつわもので、ホテル平安物語グループ：もう面倒なので、今後はH H Mと略して言いますが、H H Mグループを実質コントロールしている頭脳メンバーで、皆からは「三頭の狼」という呼び名で恐れられています。

「三頭の狼」：面白いわ。負けるものですか。議題はなんなの。

鴻池

1つ目は、最近あった女子高生アルバイトへのセクハラ事件と、その揉み消しについて。2つ目は、このホテルのお客様満足度調査について、3つ目は、人工温泉製造機バルブスターの導入についてです。

冷子

1つ目はどうでもいいわ。問題は2つ目のお客様満足度調査と、3つ目の人工温泉製造機の件よ：まずお客様満足度調査の表を見せてちょうだい。

鴻池

こちらです(パソコンを操作する)

冷子

概ね星五つね。中に何人かは星四つがあるわ。星三

つがいる。信じられない。電話かけて文句言ってやるわ(デスクの受話器を持ち上げる)

鴻池

そんな事しちや駄目ですよ。皆率直な感想を送って
くれてるんですから。

冷子

でも、私が支配人のホテルが星三つなんてありえないわよ。改ざんして全て星五つにしてちょうだい。

鴻池

そんな事できませんよ。

冷子

できるわよ。暗証番号1831でデータ改ざんメニューにアクセスするのよ。

鴻池

不正行為です。僕達だけでなく、役員全員の首が飛びますよ。

冷子

やるのよ。絶対バレないわよ。

鴻池

会議中に怪しまれて、もし元データを見せろって言われたらどうします。

冷子

見せないわよ。暗証番号を言わない限り誰も改ざん前のデータを見れないわ。私と鴻池君の、2人だけ

の秘密にするの。

鴻池

でも、こんな事が明るみになったら：

冷子

男でしょう。しっかりしなさい。心配しなくても責任は全て私取るわよ。

鴻池

わかりました（パソコンを操作する）これでいいですか。

冷子

まだ星四つの人がいるわ。全部星五つにしてちょうだい。

鴻池

怪しまれますよ。いくらなんでも全員星五つなんて、少しくらい星四を残してないと、何処かの国の政党支持率１００％みたいで信用度が低いです。

冷子

いいからやりなさい。誰一人このホテルに不満なんて抱いていないという事を役員会議でアピールするのよ。私が支配人になったからにはこのホテルをグループトップにするんだから。

鴻池

どうなっても知りませんよ（パソコンを操作する）

冷子

そう、それでいいのよ。…3つ目の課題は人工温泉製造機の導入よね。

鴻池

ええ、ローマ製の最新式バルブスターです。天然温泉と同等の温泉水を製造できます。

冷子

絶対反対よ。加温なしの源泉かけ流しを維持するのよ。

鴻池

湯量が足りません。

冷子

このホテルを建設する前は温泉がたっぷり出てたんですよ。

鴻池

ええ、ですが最近出来た過疎村バイパスの建設工事で、地下の水脈が遮断されたようなんです。完全に温泉が出なくなっただけではありませんが、以前の5分の1くらいの噴出量になったと言われています。だったら湧き出る源泉を全部このホテルに引き込めば済む話じゃない。

冷子

鴻池

またそんな無茶を言う。源泉は過疎村温泉組合の合

意に基づいて適正に分配されてます。
その割り当てって分かる。

冷子
鴻池

(パソコンのモニターを見ながら)うらぎり荘が50%、
共同浴場に20%、温泉街の各民宿や個人経営の旅館に、20%、うちは10%です。

冷子
鴻池

なんでうちが10%しかないのよ。
一番新しいホテルだからですよ。建設には反対運動もそうとうあったようですし。

冷子

そこは百歩譲るとして、このうらぎり荘っていうのは何よ。50%も源泉引き込むなんて欲張りすぎだわ。

鴻池

うらぎり荘は、創業450年の老舗旅館で、明智光秀が本能寺に向かう直前に浸かったことが、うらぎりの湯の名前のきっかけになった由緒正しい旅館です。ここの若女将が過疎村温泉の広報をかねています。

冷子 噂には聞いているわ。なかなかの食わせ者らしいじゃないの。

鴻池 亡くなった父親の後を継いで奮闘してますよ。

冷子 会った事あるの。

鴻池 客の振りして何度か偵察に行きました。

冷子 さすがは鴻池君ね。頼りになるわ。

鴻池 実はずっと気になってる事がありまして。温泉の噴出量が5分の1程度に減ったのに全ての湯船に源泉をたっぷりと満たしているんです。

冷子 そりゃそうよ。だって50%も源泉引き込んでるんだもの。贅沢に温泉を使えるわよ。

鴻池 いいえ、そんな事はありません。いくら50%の源泉を引き込んだとしても、噴出量がこれだけ落ち込めば、以前と同じ温泉の使い方はできないはずですから。ちなみにざっと計算してみたところ、今の噴出量であれば、うらぎり荘が使える天然温泉は、大浴場く

冷子

鴻池

らしいものです。その他の露天風呂や壺湯や、打たせ湯、寝湯、は水道水を沸かしたものを使うしかありません。

温泉の素でも大量に入れてるんじゃない。土産物屋によく売ってる入浴剤みたいなやつとか。

泉質を調べれば天然温泉か入浴剤かの違いは判断がつきますよ。それに入浴客の中には、自称温泉ソムリエのような猛者もいますから、温泉の素なんて使っていたら、直ぐにバレてSNSに情報を投稿される恐れがあります。

実は、うらぎ荘に浸かりに行って、こっそり温泉検査キットを使って調べてみましたが、全ての湯船に天然温泉を使用してます。浴場以外にも部屋の洗面所や、トイレを流す水、ウォーターサーバーまで、紛れもなく源泉かけ流しの天然温泉を使用しています。

冷子

あなたよくそこまで調べたわね。それで、結局どういう事なの。

鴻池

うらぎり荘は、何らかの方法で、村に一つしか無い源泉以外から天然温泉を手に入れてるようです。

冷子

でも、どうやって手に入れてるの。

鴻池

何処かに隠し源泉を持っていて、そこで汲み上げた温泉をタンクローリーで輸送するという方法があります。現実的には困難でしょう。僕の計算では20キロリッター積載可能の大型タンクローリーを一日に三往復させなければなりません。村人に目立つし、また採算が取れません。

冷子

隠し源泉からパイプラインで引っ張ってくればいいんじゃない。

鴻池

パイプライン埋設工事に莫大なコストがかかりますし、村に内密で勝手に地面を掘り起こす工事はできません。

冷子

じゃあ他に考えられる方法はないの。

鴻池

可能性としてあるのは、源泉汲み上げ室から50%

以上の温泉を無断で引き込んでいるという事です。

おそらくメーターを改ざんしているんでしょう。

冷子

なるほどね。ありがとう役にたったわ。

暗転

HHMパレス過疎村会議室

島崎

これよりHHMグループ定例会議を行なう。皆さん

よろしくお願いいたします。

出席者

よろしくお願いいたします。

島崎

書記は鴻池副支配人に担当してもらいます。

鴻池

よろしくお願いいたします。

島崎

それでは早速1つ目の課題ですが、先日我がHHM

冷子

冷子 島崎
山根 島崎

グループに勤めていた。アルバイトの女子高生が、コンプライアンス委員の一人にストーカーされて精神を病んでしまった、とのこと。女の子の両親が会社を訴えると思巻いているが、今のところ社内不祥事揉み消し局長の私の力で何とか抑えている。

どうやって抑えてるんですか。

両親に金をちらつかせている。

上手く抑えられそうですか。

この世に金で転ばん奴等いない。俺の実力で隠蔽してみせるさ。然し、厄介なのが一人いて、女子高生の従兄弟が被害者ツラしてしゃしゃり出てきて、もつと金を寄越せとか言ってきた。こっちもヤクザを使つて脅しをかけて食い止めにかかつてはいるが、その従兄弟がエースコックのインストラメンが好きでインフルエンザにかかっている。何を言ってるのか理解できないわ。

M R、A T M 専務、それを言うならフェイスブックとインスタグラムが好きなインフルエンサーでしょう。

島崎 ああ、そうだ。拡散されては困る。脅しをかけてもらっているヤクザには手段を選ばないよう念押しをしている。

冷子 ところで、そのストーカーをしていた男っていうのは誰なの。

島崎 その男についてはコンプライアンス委員会で査問にかけ、既に厳重注意を言い渡してある。

冷子 注意だけ？甘いんじゃない。

M R、A T M なんて名前を公開しないんですか。そもそもその男も、コンプライアンス委員のくせに女子高生にストーカーするなんて頭おかしいんじゃないですか。その者の氏名については、個人情報保護の観点から公表を差し控えさせて貰うが、コンプライアンス委員長 の責任において私が処罰を行ったから、皆さん

島崎

も安心していただきたい。

山根 何が安心していただきたいですか。そんな下劣な野郎は名前を公表すべきですよ。

M R、A T M そうだ、そうだ。

島崎 みんなの気持ちは良く分かる。俺も同感だ。そんなゲス野郎は公表して晒し者にすべきだと思う。だが冷静になって考えて見給え。その男の氏名を公表することでは我が伝統と格式を重んじるホテル平安物語グループの看板に泥を塗るだけではないか。ここは一つ、創業二年の歴史あるホテル平安物語グループを尊んで、氏名公表を控えようではないか諸君。

冷子 創業二年しか経ってないのに、江戸時代からやっている京都の老舗和菓子店みたいにもったいつけた言い方しないですよ。

山根 公表が無理なら、せめて我々役員にだけは名前を知らせてくれてもいいでしょう。

MR、ATM そうですよ。別に誰にも言ったりしませんよ。

その男のプライバシーは約束します。

島崎 いや、しかし…創業二年の伝統が…

MR、ATM 伝統とか関係ないじゃないですか。

冷子 ちよつと待って、その男もコンプライアンス委員なのよね。ひよつとして…まさか。

島崎 実は…俺なんだ。

三人 えー。

冷子 呆れた。信じらんない。

山根 最低だよ、あんた。

島崎 みんな、そんな目で見ないでくれよ。だって好きだったんだもん。

冷子 キモいわ。

鴻池 あの…時間が押しているので、そろそろ次の課題にいきますか。

島崎 そうしてくれたまえ。鴻池君、ここまでの流れを一

文で議事録にまとめてくれたまえ。

鴻池 はい(ラップトップに文字を打ち込む)島崎専務がキモかった…これでいいですか。

島崎 まあ、そんなところだろう。ま、皆さんにも忠告しておく。軽い気持ちでした言動が、ストーリーやセクハラなど思わぬ大事に発展することがあるので以後気をつけるように。

冷子 よく言うわ。自分でしたくせに。

島崎 冷子支配人。今日は何かとイライラしているようだね。ひょっとしてあの日なんじゃないの(イヤらしい笑い方をする)

冷子 それよ。それがセクハラなのよ。普通の会社だったら今の一言で解雇されるわよ。

山根 え、今のでセクハラなの。あんなのいつも新入社員

冷子 の女の子に言って笑ってもらってるよ。
あんだ達馬鹿なんじゃない。だからHHM大阪西成

山根

シャトーあいりんは、女子社員の離職率が高いのよ。あ、うちの経営方針に干渉したな。これは立派な干渉ハラスメントだ。

冷子

なんでも強引にハラスメントに結びつけるんじゃないわよ、馬鹿。そういうのをハラスメントハラスメントっていうのよ。

山根

馬鹿って言ったな。ハラハラハラ女。

冷子

馬鹿だから馬鹿って言ったのよ。

島崎

二人とも落ち着くんだ。山根常務、清子君の言う通り、君の評判は近頃すこぶる悪いぞ。

山根

ロリコンストーカー専務に言われたくありませんね。俺が言ってるんじゃない、みんなが言ってるんだ。

島崎

なんでも君は脚本投稿サイトにアップした自作の脚本を無理やり同僚や後輩に読ませてるそうじゃないか。それは立派な自分の脚本を無理やり人に読ませるハラスメント……ムリハラだ。

M R、A T M 僕も山根パイセンに無理やり読めと言われまし

た。読むのが面倒だったら、読まなくてもいいから
ハートマークをクリックしてくれと頼まれました。

島崎

実力では、到底他の投稿者の方に及ばないからといっ
て、そんな姑息な手段でランキング上位を狙ってい
たのか、お前という男は。見下げたクズ野郎だ。

冷子

もういいかげんにしてよ。さっきからなんなのよ。
時間押してんのよ。鴻池君、さっさとまとめて。

鴻池

はい(キーボードをタイプする)自作の脚本を他人に
ムリヤリ読ませてはいけない。ムリハラ。

島崎

えーと、次の課題はなんだったかな…そうだ、お客
様満足度調査についてだ。H H M パレス過疎村がオー
プンして半年が経つが、これまで寄せられたお客様
の感想を、あらかじめグラフにしてもらってる。鴻
池君、モニターに映してくれたまえ。

鴻池

はい(モニターにグラフを映す)

一同驚愕する。

島崎　こ…これは。

MR、ATM　みんな星五つだ、ありえない。

山根　改さんだ。改さんしたに決まっている。

冷子が山根を睨みつける

冷子　ちよつと変な言いがかりつけないでよ。

山根　だってありえないよ。お客さんが全員そろいもそろつ

て星五つをつけるなんて。僕が総支配人を務めてい
るHHMシャトー大阪西成あいりんですら、星四や
星三があるっていうのに。

冷子　それはお前のところが人気ないからだろ。うちは客
が満足してるからみんな星五つなんだよ。なんか文

句あるのか。

山根

別に文句はないけど：

冷子

だったら黙ってる。このクズ。

島崎

清子君。口を慎みたまえ。この表はさすがに怪しい。全員星五はやりすぎだ。君は本当に改ざんしてないと、君自身の良心に誓ってそう言えるかね。後で改ざんが明るみに出て、マスコミにでも知れ渡ったら私達役員だけではない、H H Mグループ全従業員が職を失う事になるかもしれない。今だったら、まだ間に合う、君のプライドが傷付く事がないように、最善の努力をする。どうか本当の事を言ってくれ。

冷子

この表は改ざんしていないと心から言えるかね。

もちろんよ。当たり前じゃない。もし仮に私が改ざんしたとして、こんなあからさまに星五つばかりならべるはずがないじゃない。私もそこまで馬鹿じゃないわよ。やるなら、星三つ、あえて星一つなんか

も紛れさせて、いかにも私達はお客様のクレームにも真摯に向き合いますって言う嘘っぽいパフォーマンスをかもしだすわよ。

島崎　うーん、言われてみれば納得だな。鴻池君、君は何か知ってるかね。正直に述べ給え。

鴻池　（ガタガタと震える）

島崎　どうした鴻池君。気分でも悪いのかね。

鴻池　ぼ…ぼくは…その、冷子支配人の、の、言う通りだと…

山根　（立ち上がる）島崎専務、この女はやはり嘘をついています。それは鴻池副支配人のこの狼狽した態度をみても明らかです。

冷子　お前まだ疑ってるのか。いいわよ。そんなに疑うのなら自分で確かめてみれば。

ラップトップを山根にむかって投げつける。

島崎

冷子支配人。落ち着きたまえ。

山根

分かったよ。信じるよ。改ざんしてないんだろう。

もうそれでいいよ。

冷子

何よ、その言い方。信じてないんでしょう。見ればいいじゃん。さっさと確認しなよ。それとも見る勇気が無いの？

山根

分かったよ。そこまで言うなら見てやるさ。お前がハッターリを言ってるって事を証明してやるぜ(パソコンを開く)

冷子

暗証番号は1831よ。これでうちのマスターコンピューターにアクセスできるわ。ただし、もし私が嘘をついてないってわかったら、HMMシャトー大阪西成あいりんの総支配人の座を譲ってもらうわ。

島崎

そんな無茶な。

冷子

まさかこの勝負降りたりしないわよね。

山根 やってやるよ。どうせハタタリに決まってるんだから

負けるわけねえよ。

冷子 念書書いてよ。

島崎 冷子君、何もそこまでしなくてもいいだろう。

清子 うるさい、あんたは黙ってろ。

山根 (その辺の用紙に念書を書いて、親指を歯で噛み切り、血判を押す) これでどうだ。

M R、A T M 今どき血判状だなんて、昭和のヤクザみたいだ。今に泣きつ面になるぜ、やっぱり見ないで。ごめん

なさい。私が悪かったわ。山根さん、お願い私の事許して、私寂しかったの。なんてさ。

冷子 馬鹿、早く見なさいよ。

山根 1831だな、よし、後はエンターキーを押すだけだ。さあ見てやるぞ。今正に俺の人差し指がエンターキーを押そうとしているぞ。

冷子 ∴。

山根 …さあ、押すぞ。

冷子 …どうした、早く押せよ。さっきまでの根性はどうしたのさ。

山根 …う…疑って悪かったな(パソコンの画面を閉じる)

冷子 はあ、何それ。ヘタレじゃん。びびって芋引いてんじゃないねえよ。

山根 す、すまなかったよ。

冷子 すまなかった？人の事散々疑っておいて今さら何よ。土下座してよ。

島崎 冷子君、山根常務は謝ってるじゃないか。

冷子 島崎専務、私はこの男から、データ改ざんしてるなんて疑われてコケにされたのよ。これが黙っていられますか(山根に向って)早く土下座しろよ。

山根 (床にひざまずき)疑って申し訳ありませんでした。(頭を深く地面につけ、土下座する)

冷子 ほんっと情けない男。反吐が出るわ。私だったら絶

対土下座なんてしないわ。

鴻池

(タイプする) 山根常務が土下座した。

島崎

少し休憩しよう。

暗転

島崎

続いての議題はなんだったかな。

鴻池

人工温泉製造機、バルブスターの導入についてです。

島崎

ああ、そうだったね。皆さんご承知の通り、ここ過疎

村では近頃温泉の噴出量が急激に減少する事態に落ち

ちいつております。原因は不明ですが、恐らく新たに

に開通した過疎村バイパスの支柱が温泉水脈を破断

してしまったのではないかと言われてます。

そこで、甚だ遺憾ではあるが、イタリアにあるテルマエローマ社製の人工温泉製造機、バルブスターを導入する事に決定した。これは天然温泉と同等の

泉質の温泉を人工的に製造する事が可能な画期的なマシーンである。

冷子
私は反対よ。

島崎
冷子支配人、これはもう決定事項だ。水道水をバル

ブスターで天然温泉に変換して展望大浴場までバイパスラインで供給する。よほどの事がないかぎり人工温泉だと見破られる事はない。

冷子
一週間待って下さい。

島崎
一週間待ってどうするんだね。

冷子
温泉を引いて来ます。

島崎
まさか新たに温泉でも掘るのかね。いくらなんでもそれは無理だ。

冷子
私に考えがあります。

島崎
それは何だね。

冷子
今は言えません。必ず展望大浴場に天然温泉を引いてみせます。

山根 どうせ何も考えてないんですよ。この女は（せせら笑

う）

冷子 てめえぶつ殺すぞ。

山根 あ、す…すみません。

………

島崎 なんか変な匂いがするな。

M R、A T M あ、大変だ山根パイセンがお漏らししてる。

しかも大きい方。

島崎 山根常務、恐怖のあまり脱糞してしまったか。

鴻池 （タイプする）山根常務がうんこを漏らした。

冷子 ほんっとクソ野郎だわ。ちよっと怒鳴ったくらいで

ビビってんじゃないわよ。よくこんな奴が結婚でき
たわね。

M R、A T M けっ…結婚…あ…あ…（手がガクがと震える、

持っているコップから水がびしゃびしゃと飛び散る）
どうした。MR、ATM常務。

MR、ATM常務は、結婚とか家族とか嫁の両親とか

言うキーワードを聞くと、発作が起きるんです。

五年前に結婚した時は、あんなに幸せそうだったのに。いったい君の身に何が起きたのだ。

山根 最近ではMR、ATM常務は、家に近づくだけで発作が収まらなくなるので、毎晩ネットカフェか、サラリーマン花太郎で寝泊まりしてるんです。

冷子 もう最低。こんな醜悪な役員会議初めてよ。何が「三頭の狼」よ。聞いてあきれるわ。鴻池君、行きましよう。

鴻池 でも：いいんですか。

冷子 いいわよ。こんなクズ達ほっときなさい。

部屋を出て行く間際に振り返って

冷子 最後の鍵閉めといてね。後、床掃除しといて。あまり遅くなると奥さんが心配するわよ。じゃあね。

2人退室

MR、ATM お…奥さん…あーあーうー（手が震える。持っているコップから水がバシャバシャと飛び散る。

島崎 発作が酷くなった。誰かATMを持ってこい。

山根 専務、それを言うならAEDです。

島崎 なんでもいい、早く持ってこい。

MR、ATM あーうーうー

暗転

支配人室

冷子 最低な役員会議だったわ。

鴻池 あの人達大丈夫でしょうか。特にMR、ATMさん。

冷子 何とかするでしょう。

鴻池 ところで支配人、温泉をどうやって展望大浴場に引き込むんですか。

冷子 それをこれから考えるのよ。

鴻池 え、それじゃ山根常務の言った通り何も考えてなかったんですか。

冷子 そんな言い方しないで。何とかするわよ(少し思案して)そもそも源泉ってどこから汲み上げてるの。

鴻池 (窓の外を指して)角丘と丸岡の間にある汲み上げ場からポンプを使って汲み上げてます。

冷子 あのみすばらしい掘っ立て小屋の事。

鴻池 そうです。汲み上げた源泉は、パイプラインで三方向に流れる仕組みになってます。一方は丸岡にある

老舗旅館うらぎり荘。

冷子

50%も温泉使つてるところよね。いまいいわ。
(丸岡の頂上に建つうらぎり荘を眺める)

鴻池

もう一方は角丘に建つ僕達のホテルに流れます。

冷子

たった10%だけよね。

鴻池

ええ、残りの40%が温泉街までパイプラインで流れて、共同浴場と各民宿へと毛細血管のように枝分かれして供給されます。

冷子

その掘つ立て小屋には番人がいて湯量の調整はしてるの。

鴻池

いえ、誰もいませんね。管理はうらぎり荘になつています。ま、元々うらぎり荘が建てた施設ですから。

冷子

鴻池君、何度かうらぎり荘に行った事あるって言うてたわね。

鴻池

ええ、市場調査目的ですが。

冷子
鴻池

掘っ立て小屋の鍵のある場所知ってる。

知ってるわけないでしょう。ですが、ロビーの奥に管理入室があって、そこに番頭の源さんが出たり入ったりするのを見てるので、おそらく鍵はそこにある気がします。

冷子
鴻池

盗み出せる？

支配人、お願いですから僕を犯罪に巻き込まないで下さい。さっきの役員会議でもアンケートの不正がバレてたら僕達の運命はどうなっていた事か。心臓が縮む思いがしましたよ。支配人はよく平常心でいられましたね。

冷子

バレやしないわよ。あのヘタレの山根がデータを開く根性なんてあるはずないじゃん。

窓の外を眺めながら考え込む

冷子 鴻池君、前にうらぎり荘に行った時、ロビーに秘密

の部屋があるって行ってたわね。

鴻池 ええ、壁沿に、御札を沢山貼り付けた怪しい扉があ

りました。番頭さんに聞いたところ、中には明智光

秀が実際に浸かった湯船が当時のまま保存されてる

とおっしゃってました。

冷子 それよ。そこに、鍵を得る手がかりがあるわ。

鴻池 何を考えてるんですか。

冷子 うふふ…秘密よ。

デスクの電話が鳴る

鴻池 はい、支配人室です。どうぞ繋いでください。…お

電話かわりました。副支配人の鴻池です。え、ビツ

クリモーター様ですか。御注文の商品をお待ちした…

冷子 入口の駐車場に停めておくように伝えてちょうだい。

鴻池 すみません、入口の駐車場に停めておいてください。

電話を切る。しばらくして窓の外で爆音が鳴り響く。

鴻池 (窓の外を見る) トランザムだ。

冷子 支配人になったご褒美に購入したのよ。1973年

型のポンティアック、ファイヤーバードトランザム
手に入れるまで二年かかったわ。V8、7・5リッ
ターエンジン、直線的で鋭利な刃物のように美しい
フォルム、ロングノーズのフロントボンネットに描
かれた不死鳥は勝利者の象徴。選ばれた王者だけが
所有する事を許される、正に名車中の名車よ。

鴻池 冷子 支配人は勝利を手にした王者ですか。

まだまだこれからよ。私はファイヤーバードにのっ
て大空を駆け抜けるのよ。ロリコンストーカーの島
崎専務も、クソ野郎の山根常務も、帰宅恐怖症のM

R、ATMも、蹴散らしてやるわ。男なんてクズばっか。私はずっと一人で生きてきたしこれからも生きていくの。

鴻池

ずっと一人なんですか。

冷子

そうよ、シングルマザーの母は、まだ幼稚園児でひとりっ子の私を家に残してスナックで朝まで働いていたわ。私は一人で朝まで留守番してたの。唯一の友達はやキャンディスっていう汚い人形だけだった。淋しくなんてなかった。子供の頃から、絶対に強くなってるって思っていた。誰にも頼らず生きていくわ。

鴻池

結婚とか考えないんですか。

冷子

結婚なんてコスパもタイパも計算できない馬鹿のすることよ。

鴻池

そうですか。お強いんですね。

冷子

強くなったのよ…でも、私…鴻池君とだったら…

突然扉が開いて、女子社員の美和が入って来る。

美和 鴻池副支配人、依頼されていた書類のコピーを持っ

てきました。

鴻池 ああ、美和君。ありがとう。

美和 どういたしまして。またいつでも言ってお下さい。

部屋から出て行くとする

冷子 ちょっと美和さん。私と鴻池副支配人は今とっても

大切な話の最中なの。入室の時は、ノックぐらいしなさい。

美和 あ、すみません。私ったら。どうぞ私に構わず大切な話の続きをなさって下さい。

冷子 もういいわよ。

暗転

三乃湯 老舗旅館うらぎり荘

老舗旅館うらぎり荘の前で月刊温泉ジャーナル編集長の
温絵と、ライターの大田が待ち合わせする。

温絵 遅かったわね。大田君。

大田 すみません。東京から最短ルートで10時間もかかる
とは思いませんでした。

温絵 実は、私も今さっき着いたばかりなんだ。で、大地
教授とは会えたの。

大田 ええ、話を聞いてきました。

温絵 なんて言ってた。

大田 過疎村で度重なって起きた伝説、明智光秀が温泉に

浸かったとか、ツチノコとか人面犬とか、全部観光客集めのための話題作りだと言っていました。

温絵

やっぱりそうなんだ。

大田

ただ唯一、邪馬台国伝説だけは信憑性があるとも言っていました。

温絵

まあ、邪馬台国伝説は日本全国いたるところにあるからね。

大田

それなんですが、大地教授は、邪馬台国は移動していたんじゃないかっていう説を唱えてましたね。

温絵

移動って、ひょっこりひょうたん島みたいにい？
ひょっこりひょうたん島ってなんですか。

温絵

説明するの面倒だから自分で調べて。
わかりました。

大田

もう、邪馬台国の事も、その他の人面犬とか明智光秀とかどうでもいいわ。一番興味を引くのはやっぱり過疎村温泉の源泉汲み上げ量が減ってきているこ

とよ。そこを率直に取材するつもりよ。とにかく中に入りましょう。

うらぎり荘の暖簾をくぐって中に入る。

番頭　いらっしやいまし。

女将　おこしやす、

番頭　さ、お客人お履物はそのままでお上がり下さい。

女将　本日は、当過疎村温泉うらぎり荘へお越し下さり誠に

ありがとうございます。真心込めて尽くさせていただきますので、どうぞごゆるりとご逗留下さいまし。

番頭　さ、さ、どうぞどうぞ中へ、お足元にご注意下され。

温絵　あの、お電話差し上げた月刊温泉ジャーナルの者です。

女将　何や、雑誌の記者はんか。それやったら最初からそ

う言うておくれやす。その辺の椅子にでも腰掛けて待ってておくれやす。

奥に引込む

番頭　ほたらわいも失礼させてもらいまっさ。

同じく奥に引込む

大田　雑誌の記者と言ったとたん、態度が急変しましたね。
温絵　最近こういう事がよくあるのよ。昔は取材というと

下にも置かない丁寧な対応をしてくれたけど、今じゃ厄介者扱いだわ。：ま、最も私達雑誌社も行った先々でぞんざいに振る舞って散々迷惑をかけてきたから因果応報なんだけどね。

ロビーにある応接セットに腰掛けて待っていると、女将がやって来る。

女将

先程は失礼いたしました。雑誌の記者さんと聞いてつい横柄な口聞いてしまうけれど堪忍しておくれやす。温泉について聞きたい言うてはりましたな。なんでも聞いておくれやっしゃ。

大田

(小声で)京言葉と、大阪船場のあきんど言葉が入り混じっているぞ。いったいどこの出身なんだろう。

温絵

大田君静かに、(女将の方を向き)本日はお忙しい中お時間をいただきありがとうございます。早速お伺いしたいのは、昨今世間で騒がれている、過疎村温泉の源泉が減って行ってるってことですが、こちらの旅館ではどうなのでしょう。

女将

(奥にいる番頭に向って)源さん、ぶぶ漬け出したっておくれやす。

女将が立ち去る。

温絵

どうしたんだろう。また急に不機嫌になっちゃったわ。ぶぶ漬けって何？

大田

お茶漬けの事です。色々諸説ありますが、僕の知る限り、京都人が客にぶぶ漬けを振る舞うのは、帰ってくれと言う意思表示らしいです。

温絵

私何か気に障る事言ったかしら。それに、ここ京都じゃないし。

大田

出し抜けに源泉が減ってるんじゃないかなんて、旅館からしたらあまり触れられたくないような事を聞くからじゃないですか。

温絵

質問を変えてみるわ。実はさっきから気になってたんだけど、壁沿にあるあの謎の扉はなんなのかしら。

御札を沢山貼っている異様な扉を指さす。

大田 以前僕が話した、秘密の部屋ですよ。

温絵 あれがそうなのね。今度女将が戻って来たら、あの部屋について尋ねてみるわ。

女将がぶぶ漬けを盆に載せて運んで来る

女将 先程は失礼いたしました。さあどうぞ、ぶぶ漬けで

も上がりながら、なんでも聞いておくれやす。

温絵 こちらこそ、すみませんでした。質問を変えさせて

いただきます。実は先程から気になっていたんですが、あの扉はなんなのでしょうか。

女将 (奥に向って) 源さん、ぶぶ漬けのおかわりをこしらえておくれやす。

女将立ち去る

温絵　　まただわ。

外で大きな轟音が聞こえる。

温絵　　何の音かしら。

源さん　戦車のような自動車が入ってきたぞ。

大田　　トランザムだ。

冷子と鴻池が入って来る

女将　　おたくらなんどすの。

冷子　　（いきなり上がり込んできて、壁沿の秘密の扉の前に立つ）ここを開けてちょうだい。

女将

えろう騒がしゅうまくし立てはって、他のお客さんに迷惑どすえ。出て行っておくれやす。

冷子

うるさいわよ、クソババア。その船場の商人崩れみたいな話し方むかつくんだよ。早くここを開ける。きつとこの中に、隠し源泉汲み取りポンプがあるんだわ。共同源泉の湯量が減ったのは、ここから大量に地下源泉を汲み取ってるからに決まってるわ。

扉にはってある御札をバリバリと手で破り捨て、押したり引いたりして無理やり扉をこじ開けようとする。

源さん

あー、なんと罰当たりな。今に罰がくだりますぞ。

温絵

ちよっと、あなた何なんです。さっきから勝手に入ってきて、無理やりその扉開けようとして。

冷子

文句あんの。このブタ女。

温絵

ちよっと失礼じゃない。初対面の人にブタ女なんて。

冷子 本当の事言ってんじゃん。プタ。

温絵 許せないわこのブス(掴みかかろうとする)

女将 あんさんから、出ていっておくれやす。源さんぶぶ漬

け持ってきておくれやす。

温絵 もういないわよ。

冷子 クソババア、黙ってろ。

女将 ワテを怒らましたな。舐めたらいかんぜよ。虫けら

や思つて舐めとったら、その首飛ぶかもしれまへん
え。

三人の女が髪のを引っ張り合いながら取っ組み合いを
なす。そこへ番頭の源さんが両手を拡げて仲裁に入る。

源さん あいや待たれよ、各々方。ここは一つ、うらぎり荘
58代目番頭を務めさせてもらつてゐる「みなもとの
源さん」こと、源源(みなもとのげん)に免じて矛を

収められよ。

三人が喧嘩を辞める。

大田

（横に立っている鴻池に対して）ここの村の人達は、いつもこんな時代劇のような話し方をしてるんですか。

鴻池

女将

僕も最近この地に赴任してきたので、よくは知らないけど、多分この人達が変わってるんだと思います。

源さん

あんさんは、角丘に新しくできたリゾートホテルの従業員でんな。見たことがある。

冷子

そこの支配人よ。

源さん

この部屋のなかには、あんさんが思うような源泉汲み上げポンプなんぞありやあせん。中には一五八二年に明智光秀が本能寺に向かう前に浸かった湯

冷子

源さん

船が、当時のまま保存されているだけです。こうして封印してあるのは、明智光秀の御魂を慰めるためと、歴史的価値のある史跡を後世に遺すためだけです。だったら開けてくれないじゃない。

亡くなった先代で女将さんのお父様からの遺言で、娘が二十歳になるまではお前が責任持って管理せよ、誰にも開けさせてはならぬと、仰せつかっております。

温絵

ちよっと待って、娘が二十歳までって…この女将さん。まだ未成年なの。

女将

ワテはまだ１８歳です。

冷子

信じられない。

温絵

すごい貫禄だわ。

女将

十七歳で、この老舗旅館を任せられて依頼、度重なる重圧と試練で、いつしか貫禄がついたのでおます。先代は厳格な人でした。過疎村バイパス道路の建設

源さん

に反対し、晩年は心臓のバイパス手術を拒否して、ひたすら、うらぎり荘のために全精力を注いでおられました。

冷子　ここには何にもなさそうね。鴻池君、帰るわよ。
鴻池　はい。

冷子と鴻池が出て行く

源さん　全く人騒がせな人達だ。

温絵　大田君、私達も行きましょう。

大田　そうですね、編集長(うらぎり荘の二人に対して)すみません。お邪魔しました。

温絵と大田が出て行く

暗転

四乃湯 優しさの泉

冒頭の老夫婦が過疎村の温泉街をとぼとぼ歩く

真知子 ほんとに、何にもないところね。三泊四日の予定だけれど、一泊で充分だわ。

隆史 (真知子の後ろから頼りなげに歩く)

真知子 あなた気分でも悪いの。

隆史 大丈夫だ。

2人の前を轟音を響かせながら、ファイヤーバードトラムが通り過ぎて行く。

真知子 まあ、危ない事。よくあんなあらしい運転がで

きるわね。

バス停の前で立ち止まる

真知子 ここよ（パンフレットを見ながら）過疎村温泉のお勧め

めパワースポットですって「優しさの泉」だって。

隆史 そうか…。

真知子 なんでもこの泉には、知性と教養と本当の優しさを

持った妖精達が現れるんですって。

二人柵から身を乗り出して泉の方を見つめる

真知子 何にも見えないわね。

隆史 …

真知子 あなたどうしたの、何か見えるの。

隆史 古墳だ。

真知子 古墳がどうかしたの。

隆史 古墳になってる。

真知子 何処に古墳が見えるの。

隆史 この辺り一帯が大きな古墳になってる。長方形の丘

の上にホテル平安物語パレス過疎村が建っている。

真知子 (パンフレットを見ながら) 角丘って書いてあるわ。

隆史 その先のお椀を逆さまにしたような小山の頂上に、

高級旅館が建っている。

真知子 あの丘は、丸岡っていうのよ。高級旅館は予約がいつ

ぱいで泊まれなかった、うらぎり荘っていうの。

……本当ね。ここから見ると、この地域一帯が綺

麗な形の前方後円墳になってるわね。でも、そんな

事パンフレットの何処にも書いてないわ。念のため

スマホでこの辺りの歴史について調べてみるわね。

スマホで検索する

真知子 圏外だわ。あまりにも田舎過ぎて、携帯会社がアン

テナを建ててないみたい。

隆史 少し疲れた。

バス停のベンチに腰掛ける

真知子 そうね、結構歩きましたもんね。私も疲れたわ。休

憩しましょう。

二人でバス停のベンチに寄り添って座る。

隆史 真知子：

真知子 どうしたの、あなた。

隆史 すまん：

真知子 …いいんですよ。病気なんですから仕方がないじゃ

ありませんか。

隆史

…まだ、そんな歳でもないのに、俺がこんな事になつてしまつて。

真知子

あなたのせいじゃないわよ、誰にでも起こりうることだつて、野村先生言つてらしたわ。

隆史

…

真知子

ねえ、ここへ来た事覚えてる。このバス停よ。ここであなた私にプロポーズしてくれたの。

隆史

…すまん…

真知子

気になさらないで下さい。…でもあの頃は若かつたわね。色々あったわ。

二人の間をバスが通り過ぎる

暗転

一九九二年 下北沢の喫茶店

隆史(24歳) ユゴーはパリの街全体を物語の主人公に据える事で、レ・ミゼラブルをロマンチズムから純文学へと昇華させたと僕はみているんだ。もっとも彼から多大な影響を受けたであろうドストエフスキーやトルストイ等と比較してみてもその文学的価値が低く評価されがちなのも、このロマンチズムが持つ娯楽性に起因することは否定しないがね。だとしてもレ・ミゼラブルこそが、人類史上最高傑作のドラマツルギーである事に関しては、誰一人異論を差し挟む事はできない。真知子君、君はこの件についてどう思うかね。

真知子(20歳) ごめんなさい隆史先輩。私…その詳しくなくて。

隆史 まあいいさ。このあたりは印象主義をどう捉えるか

によって意見が別れるだろう。ところで君、今日はゼミの発表論文についてのアドバイスを欲しいという相談だったね。

真知子

はい、先輩。なかなか上達しなくて。

隆史

見せ給え(数枚のレポート用紙を受け取る)なるほど、社会学についての論文だね。よく書けてはいる。

真知子

ありがとうございます。

隆史

しかし、君。この論文には何かが欠けている。それが何か分かるかね。

真知子

何でしょうか。

隆史

インチュイション、つまり直感だよ。あらゆる文学に必要とされる要素だ。直感なくしてただ文字を並べたてた文章は文章ではない。そんなものは猿でも書ける。近頃話題のCMのキャッチフレーズだよ。

反省だけなら猿でもできるってね。

真知子

どうすればいいんでしょうか。

隆史 寄り添う事だよ。人の気持ちに。

真知子 すみません。私には難し過ぎてついていけません。

隆史 僕の悪い癖なんだ。つい気持ちが暴走しすぎてしま
う。すまなかった。

真知子 いいえ、理解できない私が悪いんです。

隆史 君は優しいんだな。疲れるだろう。気を使い過ぎて。

真知子 ええ：

隆史 ライスカレーが冷めるよ、いいから先に食べ給え。

もうすぐ僕の頼んだものもくるだろう。

真知子 なんだか変わった店ですね。

隆史 東京では今後、こういったスタイルの喫茶店が増え
るであろうと予想されてるんだ。学文座のメンバー
ともここでよく日本文学の未来について、討論する
んだ。

メイドが注文した物を運んで来る

メイド 萌えキョン激甘カレーお持ちしました。

隆史 ああ、僕だ。ありがとう。

メイド 美味しくな―れ(カレールーを回しかけてくれる)

隆史 これが好物だね。

男性客が入って来る

メイド お帰りなさいませ。ご主人様。

男 ヒーコーを―ケ頼む。相変わらず満席だな。お、隆

史 史じゃないか。ここにいたのか。

隆史 岸川、久方ぶりだな。元気してたか。

岸川 ああ、最近の仕事が忙しくて学文座のメンバーとは会えないが、何とかやってるよ。そこに座っていいか。

隆史

勿論。

岸川
隆史

デート中かい、なんだかお邪魔しちゃ悪いな。

いや、大学の後輩だよ。今日はゼミのレポートの相談にのっていたんだ。真知子君、こちらは大学時代の文学サークルの仲間で岸川だ。

岸川

岸川です。よろしく。大学を卒業してからは、文学好きがこうじて談論社に入ったんだ。

真知子

談論社ですって。すごいわ。

岸川

なに、大したことないよ。ま、天下の談論社にはエリートでなきゃそうやすやすとは入れないがね。ちよつとばかりコネがあったんだ、親に動いてもらったのさ。僕の親は文科省の職員なんでね。

真知子

すごいわ。雑誌に何か書いてたりしてゐるんですか。

岸川

はははは。それは君、作家の仕事だよ。僕がやっているのは編集だよ。作家に指示して作品を書かせたり、作家の書いた作品を雑誌に掲載するかどうか審査し

たりするんだ。

真知子 大変そうですね。

岸川 ま、文才がなきゃ務まらない仕事ではあるがね。

隆史 岸川は学生時代コピーライターを目指していて、何

度かコンクールに入賞したこともあるんだ。

岸川 おいおい、よせよ。もう過去の話さ(真知子の方を向

いて)真知子君…とかいったね。

真知子 はい。

岸川 ちよつとばかり隆史と話させてもらっていいかな。

真知子 どうぞ。

岸川 隆史、このあいだ読ませてもらった作品なんだが、

悪いが掲載できん「いい事なんてなんにも無くて、

ただ理不尽な風が頬を刺す」というタイトルだが、

中原中也を多分に意識しすぎている。もう一つの作

品も内容がいまいちな。人間に育てられた魔法使

いの少年が、ある日突然自分の生い立ちを知らされ、

魔法学校に入学して、同級生達と協力しながら数々の試験を乗り越えて行くってストーリーだが、こんな話売れるわけないじゃん。そうか。

岸川 隆史

俺から言わせれば、お前の文章はクソだ。インチウイションが足りない、ただの文字の羅列だ。猿でも書ける。近頃流行りのキャッチフレーズさ。反省だ。けなら猿でもできるってね。

次は必ず良いのを書くよ。

岸川 隆史

お前さあ、もういい加減作家なんて目指すの止めてさ、俺の下で働かないか。今一人空きがあるんだよ。山下編集長に俺から口添えしてやるよ。山下さんの派閥に属すれば、将来は安泰だ。

気持ちはあるがたいが、遠慮しておくよ。

岸川 隆史

おいおい、正気かい。天下の談論社だぜ。コネがないきや俺達のような三流大学卒じゃ絶対入社できない

一部上場企業だぜ。

しかし…

お前のために言ってるんだぜ。この先談論社は安泰だ。いや、出版業界は人類が続く限り未来永劫に成長し続ける。だって考えてもみろ。人々が本を読まなくなる社会なんて想像できるか。そんなディストピアのような世の中になれば、世界は暗黒だ。最近の若手批評家の書いたエッセイに馬鹿な物があつたので読んでやるよ。近い将来人類は、書籍に代わる新たな記憶媒体を生み出す事に成功するだろう。それは電子手帳に携帯電話の機能を兼ね備えた物で、あらゆる人間の日々の生活にゆとりと快適さをもたらすだが、その一方便利さゆえの弊害を生じ、使い方を誤ると、人類は墮落の一途を辿る恐れがある…なんて、まるで魔法の杖のような物でもできそうな事を書いてやった。それが出版業界を脅かす存在にな

真知子
岸川

るという論調だが、ここまでいくともはや妄想癖としか思えん。商品名は、ポケットからスツと出せて魔法のように便利だから、スツマホーッと名付けたいと書いてたな。読んでいて苦笑が止まらなかったよ。スツマホーだぜ。センスゼロだよな。俺だったらそうだな。相手に本当の事を伝える道具だから、アイテニホンとでも名付けるね。

いっその事 아이폰 にしたら。

僕はコピーライターを目指していたんだぜ。 아이폰 より、アイテニホンの方が言いやすいし、しつくりくるよ。素人は黙っていたまえ。早速商標登録を取っておこう。もしかしたら大金持ちになれるかもしれない。

隆史
岸川

岸川：

おっと悪い、本題からズレてしまったな。隆史、俺の言った事、真剣に考えてもらえないか（机の上の、

真知子を書いたレポートに目をやる)なんだこのレポートは、隆史が書いたのか。

いや、それは…

社会労働学に関する考察か。ついでだから読んでやるよ。どれどれ。「労働市場における文明の発達は、消費者の生活に豊かさと便利さをもたらせてくれた一方。労働環境の是正にはいたらないのが現状のようである。その例の一つが、銀行のATMの導入だ。これにより銀行員の職務は大幅に改善されるであろう事が期待されたが、実情では窓口業務が減た分新たな職務が発生し、労働者の責任と負担は増大の一途を辿っている。これと同じ現象が国鉄職員にも起きていて、自動券売機が設置されたにもかかわらず駅職員の業務は以前よりも増えている…」

なるほど、こいつはよく書けている。これなら雑誌に掲載できるぞ。隆史、お前は小説を書くのを止め

て、今後はノンフィクションライターをめざせ。

隆史 岸川、そのレポートは：

真知子 ちよっと、あなたさっきからうざいんですけど。

一言でいえばいい事を長々と喋り続けて、聞いているといい加減疲れるわよ。

岸川 なんだね君は。

隆史 真知子君、よしたまえ。

真知子 隆史先輩は、人生の全てを純文学に捧げているんです。あなたみたいに夢から逃げたくせに、自分の気持ちに誤魔化して反省すらできない男なんて、猿以下だわ。（隆史の腕を取る）行きましょう。隆史さん。

二人退場

メイド 行ったらっしやいませ。ご主人様。

岸川が一人で残る

岸川

いったいなんだってんだ。俺が何か気に触る事でも言ったか。隆史の前ではデレデレしていたくせに、突然ツンツンと怒り出したぞ。ん、今何かいいキャッチコピーを思いついたぞ。ツンツンしている時とデレデレしている時のギャップ萌えの女の子、これを「ツンとデレ」って名付けよう。流行語になれば儲かるかもしれない、早めに商標登録を取っておこう。

いつの間にか隣にメイドが立っている。

メイド

いっその事、ツンデレにしちゃえば。

岸川

ツンデレか、少し物足りない気がするな。ツンデレツンとデレ、ツンデレ、ツンとデレ、ツンデレ、ツンとデレ、ツンとデレ。ツンデレ…やはりツンとデ

レの方が会話に馴染みやすいな。よし、決めた。ツ
ンとデレでいこう。

メイド立去る。厨房での会話が聞こえてくる。

店長 時間がかかったようだけど、お客さんに何か言わ
れたのかい。

メイド 店長、あいつセンスねえわ。

暗転

過疎村のベンチの場面に戻る

真知子 本当、色んな事があったわね。

隆史 ……

真知子 あらやだ、あなたったら寝ちゃったのね。ホテルに

戻るわよ。起きて、隆史さん。

暗転

五乃湯 我田引泉

深夜0時、冷子と鴻池が源泉汲み上げ小屋の前に立つ

冷子 ここで源泉を汲み上げてるのね。

鴻池 支配人、本当にやるんですか。

冷子 当たり前じゃない。そのために鍵を盗んできたんだから。

鴻池 鍵は、上手く盗めましたね。

冷子 計算通りよ。私が、あの秘密の部屋の前で騒ぎを起こせば、きつと源さんっていう番頭がとんで来ると思ったわ。その隙に鴻池君には管理人室に忍び込ん

でこの鍵を盗んでもらったのね。

鴻池

もう二度と、あんな危ない橋を渡るのは御免です。

冷子

何弱気な事言ってるの、これからよ。ここに忍び込

鴻池

んで、源泉を全て私達のホテルに流し込むんだから、直ぐにバれますよ。

冷子

バレたって構うもんですか。そもそもうらぎり荘が

源泉50%も引き込むなんて欲張りなのよ。さ、入るわよ。

冷子が掘っ立て小屋の扉の鍵を開けて中に入る。それに続いて鴻池も中に入る。

暗転

掘っ立て小屋の中ポンプが音をたてて源泉を地中から汲み上げている。鴻池が壁に書いてあるマニュアルを読み

ながら操作する。

鴻池

ここのバルブで操作できます。現在、うらぎり荘へ50%、HHMパレス過疎村へ10%、温泉街へ40%供給されてます。

冷子

うらぎり荘10%、HHMパレス過疎村80%、温泉街10%にするのよ。

鴻池

そんな無茶な。

冷子

いいからやりなさい。

鴻池

後でどうなっても知りませんよ。

冷子

大丈夫。絶対に上手くいくわ。

鴻池がマニュアルを見ながら各種バルブとコックを閉めたり開けたりして、供給量を調整する。

鴻池

これできましたよ。さ、もう行きましょう。ホテ

ルの方が心配だ。

冷子　そうね、行きましよう…ちよつと待って、このレバーは何。

鴻池　これは全体の排出量を調節するレバーですね。今は4ノツチとなっております。

冷子　なんで全開の10ノツチにしないのかしら。

鴻池　さあ、これが標準値じゃないんですか。

冷子　ただでさえ湯量が少ないって言ってるのに4ノツチなんてありえないわ。10ノツチにしましょう。全体の排出量を増やせば何処に何%かなんてチマチマしたことしないで済むじゃん。やっぱりあの、うらぎり荘の女将は馬鹿何だわ。鴻池君、レバーを全開にして排出量を10ノツチに上げるのよ。

鴻池　しかし、支配人。

冷子　いいからやりなさい。

鴻池　わかりました。

レバーを全開にする。コンプレッサーの電光表示がみるみる上がっていき、100%になる。シリンダーが大回転しだし、ポンプはけたたましく唸りを上げてフル稼働する。

冷子　これでいいわ。さあ行きましょう。

二人掘っ立て小屋から出て行く。高速で稼働しだしたコンプレッサーから地響きのような轟音が鳴り響き、ボイラーから蒸気が噴出する。

暗転

二日後　ホテル平安物語パレス過疎村

支配人室

冷子

鴻池君、大成功よ。展望大浴場には天然温泉が溢れる程満たされてるわ。浴場だけじゃなく、飲料水も、洗濯機の水も、トイレで流す水も、全て天然温泉を流しているのに、まだ余ってるわ。

鴻池

それは何よりです。ただ心配なのが、うらぎり荘が何も言っていない事です。

冷子

ほうっておきなさいよ。気付いてないんじゃない。

鴻池

それか、きつと全体の排出量を上げたおかげで、差し引きして以前と供給量が変わっていないんじゃない。そんなはずはありません。湯量は確実に減ってます。昨晚もうらぎり荘に浸かりに行つて、ポータブル温泉検査キットで全ての浴槽から抜き取り調査しましたが、紛れもなく天然温泉でした。

冷子

温泉街の人達はと言つてんの。

鴻池

各民宿や共同浴場から温泉の出が益々悪くなったつて言つて皆悲鳴をあげてます。中にはもう廃業するしかないと嘆いている宿主もいます。

冷子

勝手に廃業すればいいわ。問題はうらぎり荘ね。あそこそ廃棄すればいいのに。

暗転

温泉街 温絵と大田

温絵

どこの温泉宿も、湯量が足りないつて言つて休業してるわね。

大田

特にここ二日で、急激に湯量が落ちたつた言つてます。何があつたんだらう。それに引き換え、HHMパレス過疎村と、うらぎり荘の2件だけは温泉の量に変化は見られませんね。HHMにいたつては、逆

に湯量が増えたように感じます。

温絵

どうしてわかるの。

大田

昨日浸かりに行ったんです。気持ちいいんですよ。展望大浴場。星空の下でゆったりとした気分になって開放感たっぷりです。

温絵

そう、それはよかったね。

大田

編集長も浸かりに行ったらどうですか。今日で取材最終日なんですから。日帰り入浴は1200円です。貴重な情報ありがとうございます。でも遠慮しとくわ。私、温泉苦手なのよ。人前で裸になるのに抵抗があるの。

温絵

大田

そうですね。温泉雑誌の編集長とは思えないですね。あら、別に珍しい事じゃないわ。ウチの社の雑誌では、週刊オーストバイの編集長はバイクの免許持っていないし、週刊スィミングの編集長は泳げないって言うてたわ。

温絵

大田

なんでわざわざそんな人を編集長にするんですかね。

スマートフォンが鳴る

大田 はい、大田ですが。

東 大田か、東（あずま）だ。

大田 おお、どうした。この間はゆっくり話ができなかったが、また近いうちに飲みにも行きたいな。

東 ああ、そうだな。だが、今はそんな流暢な事を言ってる場合ではない。大学で大変な事が起きた。

大田 大変な事？ いったいどうしたんだ。

東 やっぱりまだ知らないんだな。相変わらず呑気なもんだ。大地教授が不正を行っていた事が発覚したんだ。

大田 何だって。いったい何をしでかしたんだ。

東 遺跡の発掘調査のさい、あらかじめ自分で土器を地中に埋めておいて、それを自分で掘り起こしていた

大田　　んだ。内部告発で不正が明るみに出たんだ。そんな、ありえないよ。あの大地教授だぜ。学界のレジェンド、ゴッドアイズ大地の異名を持つ、僕達の誇りだぜ。

東　　だから皆ショックを受けている。これが大地教授のライバルの天口教授だったら皆納得するんだが、まさか、真面目で研究熱心な大地教授がそんな不正をするとは、俺もまだ信じられないんだよ。大地教授のミーチューブチャンネル「大地健の発掘あるある大地健」も、視聴者からヤラセじゃないのか。とかデータ改ざん疑惑が出て、結局閉鎖が決定したんだ。明日記者会見を開く予定だ。

大田　　見たくないな。

東　　俺もだ。信じていたものに裏切られた気分だ。まあ、今後何か変わった事があれば連絡するよ。

大田　　分かった。ありがとう(電話を切る)溜息をつく。

温絵　大変ね。

大田　ええ…まさかあの大地教授が…信じられない。

地面がガタガタと揺れる

温絵　地震だわ。

大田　震度１くらいかな。

温絵　直ぐに揺れが止まったけれど、大丈夫かしら。心配

ね。早く私達の宿に帰りましょう。

大田　そうですね。

暗転

六乃湯　芥川賞授賞式

ホテル平安物語パレス過疎村

夜中0時支配人室

冷子

まだこんなにも未処理の書類が残ってるわ。これじゃ今夜も家に帰れそうもないわ。鴻池君。悪いんだけど、後1時間だけ手伝ってくれる。

鴻池

わかりました。

地面がガタガタと揺れだす。

冷子

また地震だわ。さっきより大きい。いったいどうしたんだろう。ニュースではどこも地震の事に触れないわね。よっぽど局地的な揺れなのかしら。

鴻池

あ、また揺れだした。今度はでかいぞ。危ない。テーブルの下に早く。

二人、テーブルの下に身を寄せ合ってたがむ。

冷子 まだ揺れてるわ。

鴻池 建物が傾いてる。

冷子 嘘、怖い（鴻池の腕にしがみつく）

鴻池 ホテルが崩壊するぞ。

大きな轟音とともに辺りが真黒になる。

暗転

暫くして：

冷子 鴻池君、鴻池君。どこ。返事がないわ。ここはどこだろう。支配人室から投げ出されたみたい。真暗で何も見えないわ。閉じ込められちゃった。周りは瓦

礫の山だわ。助けは来るかしら。

足跡が聞こえる

冷子 誰？

ドレスを着た女の子が歩いて来る

女の子 私よ。冷子ちゃんの友達よ。

冷子 あなたは…キャンデイス。信じられない。あなた人

形よね。子供の頃私がよく遊んでいた。

キャンデイス 会いたかったわ。子供の時以来ね。

冷子 どうして…来たの。

キャンデイス あたの事が心配で会いに来たのよ。

冷子 私…死んだの。

キャンデイス いいえ、まだよ。

冷子 これから死ぬのね。

キャンデイス まだわからないわ。私は死神じゃないって事は先に言っとくわ。

冷子 私、まだ死ぬ訳には行かないの。これからまだまだやらなきゃいけない事があるの。このホテルを過疎村一番の売上にして、H M シャトー大阪西成あいりんの山根を蹴落として、専務の島崎を追い越して、私がこのリゾートホテルグループを牛耳るんだから。

キャンデイス もう無理よ。冷子ちゃんあなた負けたの。

冷子 負けたですって。

キャンデイス そう、ホテルは崩壊したの。あなたが無理やり地中から温泉を汲み上げ続けたせいで、地盤が沈下したの。

冷子 そんな…

キャンデイス さすがの冷子ちゃんもショックを隠せないよ
うね。

冷子 どうなるの、これから。鴻池君は、ホテルに泊まっ

ていた人達は、どうなるの。

キャンデイス さあ、私に聞かれてもわからないわよ。

冷子 これは夢よね。夢だって言って。

キャンデイス 残念だけど現実よ。

冷子 私なんでもするわ。源泉も元通り戻すわ。人工温泉

製造機バルブスターの導入も喜んでするわ。だから

皆を助けてよ。

キャンデイス もう手遅れよ。私の力じゃどうにもならない

わ。

冷子 どうしてこんな事になっちゃったの。私はただ一生

懸命頑張って、誰にも負けないように努力しただけ

なのに。

キャンデイス 頑張りがすぎたのよ。きっと。もっと楽に生き

るべきだったのよ。

冷子 楽なんてできないわ。小さな頃からずっと一人で生

きてきたんだから。離婚後の母さんは毎晩スナックで仕事するから、幼稚園の時は、朝まで一人きりで留守番してたのよ。淋しいなんて甘えていられなかった。自分だけを頼りに生きて来たのよ。

キャンデイス　でもあなた、ずっと泣いてたじゃない。私の事抱きしめながら。淋しいよママ、帰ってきてよって、自分の感情から目を背けないで。今、冷子ちゃんが一番求めているものは何か。もう気付いてるんじゃないよ。仕事…高級外車…コスパ、タイパ、違うわよね。人生は一度しかないのよ。私、ずっと応援してるよ。だって子供の時、冷子ちゃん朝まで私の事抱きしめてくれてたもん。本当は冷子ちゃん優しい子だって私知ってるもん。

冷子　キャンデイス…

キャンデイス　さようなら。私もう行くね。

キャンデイスが瓦礫の中に消える。冷子は氣を失う。
しばらくして声が聞こえる。

隆史 おーい、ここだ。ここにいるぞ。この中に人がいる。

真知子 あなた、危ないわ。氣をつけて。

隆史 大丈夫だ。心配するな。中に人がいるんだ。何とかし

ても助ける。…このコンクリートをどかして、…

これで穴が大きくなった。おーい、大丈夫か。声が出せるか。

冷子 わ…わたしは…ここよ。

隆史 生きてる。生きてるぞ。良かった。さ、早く手を伸

ばすんだ。

冷子 あ…ありがとう。

隆史が穴の中から冷子を引っ張り上げる。

真知子

良かったわ、助かって。

冷子

他の人達は。私以外はもうなったの。

美和

皆無事です。ですが鴻池副支配人が。

冷子

鴻池君はどうしたの。

美和

まだ見つかりません。

冷子

そんな、私のせいだわ。私が無理に源泉を地下から

汲み上げたせいで、地盤が崩れたんだわ。

美和

いえ、私のせいです。

冷子

どうして美和さんのせいなの。

美和

私、いつも当直勤務の日は、午前0時に、展望大浴

場に浸かりに行くのを、鴻池副支配人は知っていた

から、私を助けるために展望大浴場に行ったんだわ。

冷子

展望大浴場にはまだ行けるの。

美和

西側の斜面が崩壊してるから無理です。きつと建物

の中に閉じ込められてる。

冷子

被害の状況はどうなの。他に閉じ込められてる人は、

建物はどれだけ崩れているの。

美和

崩れたのは、支配人室のある西側の斜面のごく一部です。客室棟は無事ですので、今のところお客様に被害は出ていない模様です。ですが、巻き込まれた人がいないか、一部屋ずつ手分けして確認をとっているところです。

冷子

わかったわ。消防への連絡は。

美和

勿論既に報告済みです。

サイレンの音がどんどん近づいて来る

隆史

おおい、ここだ。ここだ（大浴場の窓から身を乗り出して手を振っている）

冷子

さっき私を助けてくれた男の人だわ。

真知子

あなた、危ない。

隆史

ここに怪我人がある。今から担いで下りるから待っ

てろ。

冷子 お客様。危ないので、そこにいて下さい。今消防車が到着しますので。

隆史 (制止を無視して、怪我をしている鴻池をおぶって

非常階段を下りる)

真知子 あ、危ない。見ていられないわ。

隆史が、鴻池をおんぶして一階まで下りきった刹那。建物がガラガラと音をたてて崩れ落ちる。

冷子 間一髪だったわ。

真知子 消防車を待っていたら間に合わなかったわ。

鴻池が足を引きずってこちらに来る。

冷子 (独白)言わなきゃ。人生は一度きり。自分の感情に

目を背けないで。

鴻池が目の前に立つ

冷子

鴻池君、私のせいで……ごめんなさい。私あなたに甘えてたんだと思う。本当の事言うと私……鴻池君の事ずっと前から……

横から美和が走って来て鴻池の胸にすがりつく。

美和

鴻池さん、私の事助けようとしてくれたのね。

鴻池の腕が、美和の細い身体をがっしりと抱きしめる。

鴻池

美和ちゃんが無事で本当に良かった。もう二度と離れたくないよ。。

冷子が二人の様子を見て茫然と立っている中、月刊温泉ジャーナルの温絵と大田が現れる。

温絵

すごい大きな音だったわ。温泉街から駆けつけてきたけど、これはいったい何の騒ぎなの。

大田

あそこに鴻池副支配人がいます。ちょっと聞いてみましょう（鴻池に話しかける）

鴻池

やあ、君はこのあいだうらぎり荘にいた人だね。

大田

月刊温泉ジャーナルの記者の大田と申します。今、何が起きているんですか。

鴻池

見ての通り、土砂崩れが起きたんです。その影響で建物が崩壊しました。

温絵

怪我をした人はいるの

鴻池

幸い怪我人はいません。僕が少し足を挫いた程度です。

鴻池を、美和が寄り添って支えている。

温絵 建物の中に閉じ込められてる人は。

鴻池 宿泊客と従業員の全ての無事を確認済みです。

温絵 不幸中の幸いね。

鴻池 実は、僕と支配人は中に閉じ込められていたんですが、あちらの男性が助けてくれたんです

みんなが隆史の周りに集まる

鴻池 あなたは、命の恩人だ。ありがとうございます。

美和 自分の危険を顧みず鴻池さんを助けてくれた。まるで映画のヒーローだわ。

真知子 あなた、皆感謝してるわ。何か言ってあげて。

しばらく沈黙の後、おもむろに話し出す

隆史

皆さん、本日は私の芥川賞授賞式典にお集まりいただき、ありがとうございます。私の実力では、虐げられた人々の人生を劇的に変えるような秀作は書けないかもしれませんが、それでも私の作品によって、いつも会社や学校、家族、あらゆる組織の中で、理不尽な思いをさせられている人々に、少しでも明かりを灯してあげる事が出来ればと、そういう心掛けで物語を書いております。今後もコツコツやるしか脳の無い人間ですが、皆さんの期待に応えられるよう精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

一同唖然としたまま、動きを止める。

真知子 すみません。主人は…主人は…（ハンカチで顔を覆ってしまっ）

大田が突然大きな拍手をしだす。人で大きな拍手をずっと続けていると、一人、また一人と釣られて拍手をしだす。その音が、満点の星の煌めく過疎村の空に吸い込まれていく。

暗転

七乃湯 秘密の部屋

地面が時々揺れる。

温絵 また、揺れたわ。地盤沈下が急速に起きてるのかしら。

大田 (崩れた丘の斜面を注意深く観察している)

温絵 大田君、どうしたの。

大田 青銅だ。崩れた斜面から青銅が出てきた。三角縁神獣鏡「さんかくぶちしんじゅうきょう」もある。

温絵 大田君、それなんなの。

大田 弥生時代に大陸から送られたものです。卑弥呼が鏡として使用していたという説もあります。

温絵 ちよっと待って、それじゃあこの場所は…

大田 邪馬台国であった可能性があります。

温絵 すごい、歴史的発見だわ。大スクープよ。

大田 早速大学に務めている友人に電話します。

スマホを取り出して出土品を数枚撮影し、電話をかける。

東 どうした。大田。

大田 東、大発見だ。邪馬台国だ。俺はとうとう邪馬台国

を見つけたんだ。

東 お前、何言ってんだ。こっちは今、大地まますコミや
ら学界の対応に追われているんだ。そんな冗談に付
き合っている暇はないんだ。

大田 本当なんだ。信じてくれ。こんな事を冗談で言うわ
け無いだろう。

東 悪いけどもう切るぞ。

大田 おい、東。そこに天口教授がいるなら変わってくれ。

天口教授と話させてくれ。

東 天口教授と話しても無駄だ。教授は今忙しいんだ。

電話が途切れる

大田 おい、東、切るな。

天口 天口だが、大田か。

大田 あ、天口教授、失礼しました。実は…過疎村に三角

縁神獸鏡他いくつかの青銅器が埋まっているのを発見しました。大地教授が示唆した通り、ここは邪馬台国だった可能性があります。早速大学から発掘調査隊を送って下さい。

天口 大田：。悪いが調査隊を送る事はできません。

大田 何言ってるんですか。世紀の大発見になるかもしれないですよ。

天口 過疎村は、大地教授がかつて邪馬台国の可能性があると云ってたんだよな。

大田 はい、若い頃に、過疎村と邪馬台国の関係について学会に論文を提出した事があると言っていました。

天口 そうか、：信用できません。

大田 何言ってるんですか。出土品というれっきとした証拠があるですよ。天口教授が、大地教授とその准教授だった僕の事を憎んでいることは知っています。ですがそれとこれとは話が別です。考古学を甘く見な

天口

いで下さい。

考古学を甘く見ているのは、大地教授とお前だ。大地教授がやった発掘捏造事件のおかげで、大地教授の関わった遺跡発掘と論文は全てその学術的価値を失ってしまったんだ。大地教授だけでは無い。東京阪大学考古学部全ての信用は地に落ちた。いや、日本の考古学界が、世界中から信頼されなくなってしまったんだ。

大田

でも、僕の発見した銅鏡は：

天口

お前が嘘をついてると言ってる訳では無い。だが世間からは信じてもらえんだろう。今、大地教授を尋問しているところだが、何処に何を埋めたのか、沢山あり過ぎて覚えていないと言っている。お前の発見した青銅器が、学内の研究室から大地教授がこっそり持ち出してあらかじめ埋めておいた物かどうか、本人すらわからないんだ。

大田

天口

そんな…どうしてこんな事に…

大地教授一人の責任では無い。我々皆の責任だ。お前も、東も、考古学部の他の者も、薄々感づいていたはずだ。一人の人間が神の如く歴史的発掘を矢継ぎ早にできるはずが無いって。でも皆見て見ぬふりをしていた。お前は先日大地教授がバッグから陶器を床に落とす所を見たそうじゃないか。お前くらい感のいい男ならその時に悟ったはずだ。まだやってるのかって。お前が大学を去った理由も、結局大地教授を信じられなくなったからだろう。

大田

天口

今回の件をマスコミにリークしたのは俺だ。

大田

本当ですか。

天口

誤解するなよ。大地教授の事は嫌いだが、それが理由では無い、こうでもしなければ誰も暴走を止められなかった。今後は俺の立場も悪くなる。明日の記

者会見には大地と二人仲良く並んで頭を下げなければならんのだ。

そうですか。

大田、その出土品は誰にも気づかれんように戻しておけ。邪馬台国は永遠の謎のままにしておけ。

でも…教授。

いいから戻しておけ。…それから大田。

はい。

大学に戻ってこんか。俺と大地は懲戒解雇になる。

お前と東の二人で、東京阪考古学部をゼロから立てなおしてくれ。過疎村の発掘は、ほとぼりが冷めたらお前ら二人で決めればいい。

ありがたい話ですが、僕はもう大学を去った人間ですから。

そうか。分かった。

電話を切る。

温絵 大田君、ずいぶん話込んでいたようだけど、発掘調査隊は来るの。

大田 いえ、発掘はしません。

温絵 でも、こんな立派な銅鏡が出てきたのよ。私これ日本史の教科書で見たことあるわ。昔は綺麗な鏡だったのよね。卑弥呼はこれを見てお化粧したのかしら。

口マンがあるわ。

大田 これは、偽物かもしれないんです。

温絵 なんだ、偽物なの。

銅鏡をポンと放り投げる。地面で割れて粉々になる。

大田 ああ！なんて事するんですか。

温絵 え、だって偽物だって言ったじゃん。

大田

いや、本物だけど、偽物かもしれないって事です。

温絵

意味がわからないわ。

大田

つまり、大地教授が、他の場所で出土した物を研究室から持ち出してここに埋めたかもしれないって事です。

温絵

言ってる意味がわからないわ。

大田

なんでもいいです。あー三角縁神獸鏡が粉々になっちゃった。同じ物はもう埋まってなさそうだ。

これで邪馬台国の謎は、永遠に謎のままになりそうだ。

温絵

邪馬台国って事は、つまりこの丘が、卑弥呼の墓かもしれないって事よね。だったらこの辺ほじくり返したら、石室があるんじゃないの、卑弥呼を埋葬した。

しばらく沈黙した後、大田がはっとする。

大田　　そうか。そうだな、さすが編集長。

突然走りだす。

温絵　　ちよっと、大田君、何処に行くの。

大田　　石室の入口を探すんです。

温絵　　でも、それって何処にあるの。

大田　　僕の上に間違いがなければ、この古墳は、竪穴式石室です。つまり丸い丘の頂上に石室に入る入口があるはずです。

温絵　　でも、丸い丘の頂上には、うらぎり荘の建物があるわ。あ、分かった、秘密の部屋ね。

丘を駆け上る二人の前を、猛スピードのランザムファイヤーバードが遮り、急スピンして停車する。

温絵　ちよつと、危ないじゃないの。

大田　あ、あなたは、H H M パレス過疎村の支配人じゃないですか。

鴻池　（駆け寄って来る）支配人、何処に行ってたんですか。ずっと姿が見えなかったので、皆探していたんです。源泉汲み上げ場に行ってたの。ポンプを止めてきたわ。これで地盤沈下は収まると思う。

美和が遅れてやって来る

美和　支配人、私心配してました。やっと見つかったわ。いったいどうしたんですか。

冷子　なんでもないわ。

美和　（じつと顔を見つめる）支配人……泣いてたんですか。目が腫れているわ。何があったんですか。私でよけ

れば相談にのりま…

冷子 何でも無いって言ってるでしょう。しつこいわね。

美和 ご…ごめんなさい。

温絵 支配人さん。私と大田君はこれから丸丘の頂上に建

つ、うらぎり荘に行つて例の「秘密の部屋」を開けてもらおうと思つてるの。あの部屋にはとても重要な真実が隠されているかもしれないんです。

冷子 私も同じ事を考えてたわ。今日こそ何としても、あの部屋の扉を開けてみせるわ。二人共乗つて。

温絵と大田、トランザムに乗り込む

暗転

七乃湯 バイパス

石室　卑弥呼が水晶を眺めている。水晶からは温絵や大田や冷子の話す声が聞こえてくる。

卑弥呼　まずいことになったわ。この場所が皆にばれてしま
う。

人面犬　何処かに隠れるんだワン。

ツチノコ　キー、キー。

明智光秀　この隠れ家に彼奴らが踏み込んで来たら、この光
秀が成敗してくれる。

卑弥呼　あんたに、そんな度胸あるわけないでしょう。ただ
の影武者なんだから。

光秀　それは言わない約束でしょう。卑弥呼様。

卑弥呼　だいたい当の明智光秀自身が、あなたの存在を忘れ
てたらしいじゃないの。

光秀　我が主君に限ってそんな事は…まあ、無いとは言いい
切れないな。真面目なんだけど、結構抜けてる所が

あつたから。

卑弥呼

それにしてもあの、温絵とか言う馬鹿女。腹立つわ。私の大切な三角縁神獸鏡を放り投げて割るなんて。

お気に入りだったのに。

光秀

でも、卑弥呼様、あれ無くしたって言ってたじゃないですか。あの人達が掘り起こさなかったら、一生見つかりませんでしたよ。

卑弥呼

そういう問題じゃないのよ。影武者君。あの馬鹿女に割られた事にバリム力ついてるのよ。

光秀

邪馬台国の女王ともあろうお方が、そんなはしたない言葉使いは慎んで下さい。

人面犬

上の方が騒がしくなったワン。

ツチノコ

キー、キー。

人面犬

大変だワン。大変だワン。

光秀

とうとう扉が開けられる。階段を下りて来られたら我々の存在が知られてしまう。

人面犬 隠れるんだワン。

ツチノコ キー、キー。

卑弥呼 うるさい。うるさい、うるさい、うるさい。騒いだっ

て仕方ないでしょう。皆、静かにするのよ。絶対に

動いちゃ駄目よ。

暗転

うらぎり荘 冷子、温絵、大田が中に入って行く

女将 あんたらなんですの。えろう血相変えてお越しやして。

温絵 女将さん。今日こそは、その秘密の部屋の中を改めさせてもらうわ。

源さん なんやてワレ、お前らに何の権限があって、そんなてんごぬかしてけっかんどんねん。

温絵　（後ろに立っている大田に向って）てんごってどうい

う意味？

大田　確か関西弁でいちゃもんって意味だったと思います
が。

温絵　いちゃもんも関西弁じゃなかったっけ。

源さん　おんどれら、何前からいんぐりもんぐり囁きまくっ
てけっかんでけっかんどんねん。

温絵　さっきから意味不明な言葉ばかり使わないでよ。と
にかく早くこのドア開けなさいよ。

冷子が脇をすり抜けて秘密の部屋のドアの前に立ち、鍵
を開けようとする。

冷子　警備室で鍵を見つけたわ。

温絵　車の中で示し合わせた通り、私達が源さんを引きつ
けている間に冷子さんが警備室に入って鍵を盗み出

す。陽動作戦成功ね。

源さん あ、しまった。一杯食わせやがったな。

温絵と大田が源さんを押さえつけている。遅れて駆けつけて来た鴻池と美和が女将を押さえつける。

冷子 さ、開けるわよ。

重いドアを両手一杯の力を込めてこじ開ける。

温絵 こ…これは。

大田 なんだこれは。

冷子 思ったとおりだわ。

部屋の中には、巨大なコンプレッサーが設置してある。

温絵

冷子さん。これはいったいどういう事。

冷子

人工温泉製造機、バルブスター初号機よ。天然温泉

大田

と同等の泉質の温泉を人工的に作り出す事ができるの。イタリアのテルマエローマ社製で世界に数台しか無いわ。今うちのホテルも同じ製品を発注してる。僕はてっきりこの中に、卑弥呼の石室に下りていく階段でもあるのかと思っていたんだけど：

温絵

私達の読みは間違いだったのね。大スクープを夢見ちゃったわ。

老夫婦が遅れて到着する。

女将

源さん、これはどういう事でんの。説明しておくんなはれ。

源さん

過疎村バイパス建設がきっかけで、過疎村の源泉は殆ど干上がってしまい、どれだけポンプを稼働して

もわずかの温泉しか汲み上げられなくなりました。

東京阪大学の土木部教授からも、これ以上無理に源泉を汲み上げると地盤が崩壊する恐れがあると、釘を刺されていました。そこで先代が、自分の亡き後にも過疎村温泉が衰退する事が無いようにと、この人工温泉製造機バルブスター初号機の設置を決断されたのです。私にだけ秘密を託して：

女将
お父さん。そんな苦勞をしていたなんて。知らなかったわ。

源さん

先代は、自身の心臓バイパス手術も、過疎村バイパス建設も、頑なに反対しておられました。人工温泉製造機設置のバイパス配管工事には、ずいぶんと賛成しておられましたね。

誰も何も言葉を発せず。様子を傍観していた隆史が一言

隆史 見事な…うらぎりだ。

暗転

八乃湯 空駆ける卑弥呼

石室

卑弥呼 危なかったわ。

光秀 人工温泉製造機のおかげで、その裏側にある隠し階

段に気づかれずにすみましたね。

卑弥呼 でも、この場所が知られるのは、時間の問題よ。も

う、ここともお別れね。みんな、引っ越しするわよ。

人面犬 引っ越したワン。引っ越したワン（喜んで室内を走り
回る）

ツチノコ キー、キー（ぴょんぴょんと跳ねる）

卑弥呼

お前達、静かにしなさい。

光秀

卑弥呼様、いったい何処に行きますか。九州にしますか。それとも奈良にしますか。久しぶりに徳島でも行きますか。拙者はまた、阿波踊りに参加しようございます。

卑弥呼

楽しかったわね。皆私達の事をコスプレだと勘違いしてたみたいね。人間なんてほんっと間抜けなものね。

光秀

かつては、私達も人間でしたよ。

卑弥呼

そうね。人間だったのよね。でも、変わったわ。この国の人々は、こうして神の化身として、弥生時代からずっと見守り続けてきたけど、何だか最近身勝手な人達が増えてきたのよね。

光秀

いっその事、エジプトにでも行きますか。クレオパトラ姉さん、しばらく会ってないでしょう。

卑弥呼

あっちはあっちで暮らしづらくなってきたって、百

年前に会った時にぼやいていたわ。イギリスの発掘屋がツタンカーメンの墓掘り返していて困るって。行き先は後で決めるとして、ここからどうやって脱出するんですか。

卑弥呼 あれに乗って行きましょう。

卑弥呼が指差したその先には：

キャンデイス 待ってー。私も連れて行って（何処からか走ってくる）

卑弥呼 まあ、可愛らしい西洋人形が走ってくるわ。誰？あなた、初めて見る顔ね。

キャンデイス 私、キャンデイス。ずっと冷子ちゃんの心の中で暮らしていたの。あの子寂しがりやだから、大人になっても悲しい事があると、いつも私を呼ぶんだ。でももうお別れするの。いつまでも私に頼って

ちやいけないって、本人が決めたの。

卑弥呼　よくわからないけど、まあいいわ。賑やかなのは好きよ。さあみんな行くわよ。準備して。

人面犬　出発だワン。出発だワン。

ツチノコ　キー、キー。

光秀　卑弥呼様。何処に行くか決まりましたか。

卑弥呼　飛び立ってから話よ。…でも、エジプトはないなあ…

暗転

うらぎり荘

冷子　また地面が揺れてるわ。ポンプを止めたけど、もう

手遅れだったのかしら。

大田　（外を指差す）ケヤキが倒れる。気をつけろ。

うらざり荘の表にある巨木が倒れる大きな音がする

温絵

ケヤキが倒れたわ。

鴻池

下に止めてあるポンティアックファイヤーバードトランザムの後部に当たった。

冷子

ああ、私のファイヤーバードが。

鴻池

はずみでトランザムが斜面を進み始めたぞ。大変だ。

冷子

サイドブレーキがゆるかったのかしら。

鴻池

斜面の先はスキージャンプ台だ。

美和

あ、車が燃え出したわ。

冷子

ああ、私のファイヤーバードが、燃えている。燃えながらスキージャンプ台を滑走して行く。

鴻池

ファイヤーバードが飛んだ。

隆史

火の鳥だ。大空を羽ばたいている。まるで不死鳥のように。あ、卑弥呼だ。不死鳥の背に卑弥呼が乗っている。明智光秀もいる。

真知子 あなたしっかりして。また幻を見てるのね。

美和 綺麗。火の粉を撒き散らしながら夜空を飛んでいくわ。

暗転

あがり湯 いい事なんて何にも無くて、ただ理不尽な風

が頬を刺す

翌日、ホテル平安物語パレス過疎村会議室 役員会議

島崎専務 私がいち早く事態の収拾に取りかかったので、今回の件は何とか外部に漏れること無く押さえ込めたよ。

山根常務 さすがは、揉み消しの島ちゃんの異名を持つ島崎

専務。

島崎

過疎村の役場には、耐震補強のため緊急工事を行なっ

ていると伝えてあるので上手く、口裏を合わせるように。ところでMR、ATM常務の姿が見えないが。

山根常務

彼は、本人のたつての希望で東京支社に単身赴任しました。

島崎

そうか。なるほどね。まあ、それはさておき…冷子支配人。

冷子

はい…(うなだれている)

島崎

今後は、鴻池君を副支配人から支配人に昇格してこのホテルを建て直してもらうとして、問題は君の行く末だ。覚悟はできてるんだろうね。

冷子

はい、ご指示に従います。

島崎

今日は、神の子ハウスの小谷マネージャーに来てもらっている。小谷君入り給え。

小谷が入室してくる。かなりやつれている。

島崎 小谷マナージャー、忙しい中すまないね。

小谷 いえ、どういたしまして。

島崎 小谷君、冷子君。ここで二人に辞令を言い渡す。

暫く沈黙

島崎 小谷君をホテル平安物語パレス過疎村の副支配人に、

冷子君を神の子ハウスのマナージャーとする。冷子君、いいね。

冷子 はい。

島崎 それじゃ決まりだ。早速今後の処理にかからなければなら……

小谷 断わる。

役員の目が一斉に小谷に向く。

島崎 小谷君、今何と言ったんだね。

小谷 断わると言っただけです。

島崎 副支配人では不服かい。それでは支配人の座ではど
うだ。鴻池君には悪いが、君の立場を尊重しよう。

小谷 断わると言ってるんです。

島崎 何がそんなに不服何だね。君らしくもない。大声を
上げたりして。

小谷 この女には無理です。神の子ハウスのマネージャー
は務まりません。それに、神の子ハウスの仕事は罰
ゲームじゃありません。僕は保護者の方に色々話を
聞きました。施設に入れたのは幸運だと言っていま
した。それまでは毎日毎日オムツを変えてあげてた
んです小学生のわが娘のオムツをです。夜中の二時
までかかって晩御飯を食べさせるんです。一口ずつ

お粥を匙で掬って…全然食べてくれないんです。それが毎晩続くんです。毎晩、毎晩、毎晩、毎晩、僕よりも、その女よりもまだ若い三十を越えたばかりの親がそれをやるんです。親だからやるんです。誰も助けてくれないんです。

僕は神の子ハウスに残ります。僕は甘い人間だけど卑怯者じゃありません。神の子共達が待ってますので、これで失礼します。

小谷 退室

島崎

仕方がない。冷子君には、暫くの間このホテルに残ってもらって、美和スタッフリーダーの下で働いてもらうとしよう。異存はないね。

冷子

…はい。

暗転

過疎村温泉街　バス停、温絵と大田、老夫婦の4人が歩いて来る。

真知子　温絵さん、荷物を持っていただいてごめんなさいね。

温絵　いいえ、どういたしまして。ご主人さんお大事にね。

真知子　ありがとうございます。

大田　バスは後5分程で来ますね。どうぞお掛けになって

下さい(ベンチを指さす)

真知子　ご親切に。

大田の電話が鳴る

大田　ちょっと失礼(スマホをとる)

東　大田、大変だ。天口教授が…

大田 え、何だって。今度は天口教授がなんか不正やらかしたのか。

東 エジプトだよ。エジプト。ツタンカーメンの墓の発掘調査を、援助してくれる企業が現れたんだ。

大田 そうか。良かったじゃないか。君も行くんだろう。呪いには気をつけろよ。

東 は？何言ってるんだ。大田、お前も行くんだ。

大田 おいおい、俺は大学には戻らないって前にも：

天口 バカ野郎。（電話の相手が天口教授に変わる）

お前もメンバーに加わるんだ。

大田 でも教授、僕は：

天口 発掘調査隊の同行取材記者として、もうメンバーに登録してあるんだ。

大田 同行取材記者としてですか。

天口 そうだ。俺達は世紀の大発掘を果たすか、ファラオに呪われて死ぬかのどちらかだ。それをお前が記事

にしろ。出発は明日だ。パスポート持って成田へ来い。

電話が切れる

大田 そんな無茶な…

温絵 大田君、行きなよ。本当は行きたいんですよ。

大田 編集長。

ナレーター 今後、大田記者が天口教授率いる天口浩探検隊に同行し、スリルとサスペンスに満ちた大冒険のエジプト発掘旅行で経験する一大スペクタクルロマンは、かつて彼がビデオテープが擦り切れるまで何度も観た「インディージョーンズ、レイダース失われたアーク」に匹敵する感動巨編…という程でもないが、その話をしだすと、あと2時間はかかるので、

機会があればまたいずれするとしよう。

バスが到着する。

真知子 あなた達、バスが来たわよ。これに乗るんでしょ。

私達は次の便なの。

温絵 ここでお別れですね。真知子さん。どうぞお身体を

大切に。

真知子 あなたも元気だね。二人共気をつけてね。

隆史 君達夫婦も達者でな。

真知子 あなた、この方達は夫婦じゃありませんよ。失礼で

すよ。

温絵 (苦笑いする) 大田くん、何赤くなってんのよ。バカ。

真知子 ほら、バスが着いたわ。

大田と温絵が手を振りながら退場。バスが走り去る音が

する。

真知子 色々あったけど、楽しい旅行だったわね。

隆史 旅行？今から旅行に行くのか。

真知子 ……何にも覚えてないのね。今から帰るのよ。

隆史 そ、そうか。そうだったな。

真知子 あなた、皆の命を救ったのよ。とっても素敵だったわ。

隆史 お…俺がか。

真知子 そうよ。それも覚えてないのね。

隆史 すまん…

真知子 謝らないで。病気だもん。仕方がないわよ。

隆史 ……

真知子 あなた、どうしたの。具合でも悪いの？どうしましよ
う。もうバスが来るわ。

バスが近づいて来る音がする。一瞬照明が消えて直に点く。バスが通り過ぎる音。

二人が、若い頃の姿に変わっている「優しさの泉」と書かれた看板の前に立つ

隆史 真知子さん。僕はまだ世間を知らない青二才だけ

ど、きつと将来物書きとして大成して、芥川賞を君に捧げるよ。

真知子 隆史先輩：

隆史 いい事なんて何にも無くて、ただ理不尽な風が頬を刺す日々も、君といられるこのひと時が、僕の人生で一番輝いている瞬間なんだ。今後、一生、死ぬまで、人生が終わりを告げるその瞬間まで、僕は書き続けるよ。真知子さんのその優しい心が、人の気持ちを理解できない、馬鹿で無知でつまらないクソ野

郎達に押し崩される事がないように。

二人、見つめ合う。

隆史　僕と結婚してくれませんか。

真知子　…はい。

そよ風が吹く音とともに照明がフェイドアウトしていく

フロログ　半年後、神の子ハウス　クリスマスイブ

小谷　さあ、ケーキを食べ終わったら皆早く寝るんだよ。

誠君も香ちゃんもあつし君も、テレビはもうおしまい。歯磨きしようね。

入口のインターホンがなる

小谷　誰だろうね。こんな夜遅くに。

小谷が施設の入口に行くと、そこにサンタクロースが立っている。

ナレーション　誰であろう、このサンタクロースは。どうやら女性のものである。肩に背負った大きな袋には、プレゼントが沢山詰め込んである。女の子には可愛らしい人形を、男の子にはカッコいいスポーツカーの模型を。ずいぶんとこだわりの強いサンタである。これが誰であるかは言うまでもない。自らの意思でここへ来て、子供達と共に暮らし、かつて胸糞テイカーと恐れられたこの女が、いかにして胸糞ギバーへと変貌を遂げるのか、神の子共達のみぞ知る物語。

それを書きだすとあと2時間はかかるので、機会があればまたいずれする事にしよう。

出演者達全員が登場し、舞台に整列して礼をする。美和がバスガイドの格好をして、小旗を手に持ち、出演者達に語りかける。

美和

ヤカラツアーズの皆さん。お集まり下さい。こちらが過疎村で一番のパワースポット「優しさの泉」でございます。この泉は、知性と教養と、本当の優しさを持った人達の集いの場所です。どうぞお時間までごゆっくりご覧下さい。

出演者達がキョロキョロと周りを見渡したり、スマホで

撮影しだしたりする。

天口 何にもないじゃないか。

東 ただの泉だ。

明智光秀 何処に知性と教養と、本当の優しさを持った人達がいるんだ。

出演者達が、そつだ、そつだ、と騒ぎ出す。

美和 「独白」チツ、これだからヤカラは嫌いだ。

MR、ATM 何か言った？

美和 いえ、何でもありません。皆さん落ち着いて、よくご覧下さい。沢山いるじゃないですか。ほら、知性と教養と、本当の優しさを持った人達が。

美和が客席を指し示すと、それにならって出演者達も客席を眺める。

島崎 本当だ。こんなにも大勢の

全員 知性と、教養と、本当の優しさを持った人達が。

卑弥呼 まだまだ、この国の未来は、捨てたものじゃないわね。

幕がゆっくりと下りる。

ナレーション 夜もふけてきました。どちら様もお休みの前に、火の元戸締まりを今一度お確かめの上、ごゆっくりお休み下さい。また明日も当劇団のお芝居でお楽しみ下さい。

過疎村温泉うらぎり慕情

シーズン１ ヤカラと秘密の部屋

了

シーズン２へ……………

あなた どうせ続かんねやろ。

私 ……………続かない。

あなた お前ワンパターンやねん。

あとがき

最後までお読みいただきありがとうございます。今回もまた、登場人物が多くなってしまいました。それでも当初の予定よりは大分減らしました。もし、舞台化してもいいよとおっしゃる奇特（本来は優れたという意味らしい）な劇団がいらっしゃいましたら、一円でお譲りしますので一人二役か三役くらいこなして対応してください。

なお、劇中で使用する71年式ポンティアックファイヤーバードトランザム、は中古で10000〜30000万円が相場です。参考までに。

